

平成26年度

事業報告書



社会福祉法人
菊川市社会福祉協議会

平成 26 年度 菊川市社会福祉協議会事業報告

目 次

平成 26 年度事業報告の概要	1
1 社協基盤強化と活性化	2
2 地域福祉推進事業	5
3 在宅福祉サービス事業	38
4 菊川児童館	41
5 小笠児童館	51
6 きくがわ子育て支援センター	60
7 おがさ子育て支援センター	65
8 介護保険事業	70
9 障害者総合支援法事業	72
10 保育園事業	74

事業報告の概要

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する組織として、自治体や目的を共にする様々な活動主体と協働し、住民が地域で支えあう環境づくりを進めるために積極的な役割を果たし、公共福祉サービスや他の民間事業者等では対応し難い人々の生活課題に対する相談支援の充実・強化に努め、福祉を基盤とした「まちづくり」に取り組んできました。

地域福祉サービス事業については、①小地域福祉活動推進事業として、地域福祉活動の担い手である地域サポーターやふれあいいきいきサロン関係者、地区社協関係者に向けた講座や連絡会の実施②地域福祉推進基礎組織育成モデル事業として、地域福祉を推進し地域のニーズを地域で解決していく地域福祉推進基礎組織を既設の7地区のほか、新たに4地区（内田・横地・西方・小笠南）をモデル地区に設置し育成③市内11地区において、みんなのしあわせ懇談会を各地区での地域課題を探り出し事業展開に反映させるとともに、地域住民との懇談及び資料提供を通じて地域課題や小地域福祉活動の必要性の理解を図ることを目的に開催。以上3つについて重点的な実施及び推進を図りました。

介護保険事業については、地域で暮らす高齢者等を支える在宅サービスの主たる担い手として、介護サービスの質の向上や効率的な運営に努めました。

また、平成26年度は、「平成25年度菊川市社会福祉協議会介護保険事業の今後のあり方検討会報告書」に基づき、社協としての使命について再認識を行う中で、将来にわたって健全な法人経営を図るため「平成26年度菊川市社会福祉協議会介護保険事業等実施（再建）計画」を策定しました。

児童館事業では、乳幼児親子から小・中学生、高校生までが気軽に利用でき、親子や大人・子ども同士の「出会いとふれあいの場」となるように自由来館と交流事業を行ってきました。子育て支援センター事業は、子どもと育児をする人たち（家庭・地域）を応援し、子育ての不安や悩みの解決、子育て支援活動を目的に各種事業を行い、住民のニーズに応じた事業展開を図りました。保育園2園についても適正に安定した管理運営し、児童館や子育て支援センターとあわせて児童福祉の充実に努めました。

今後、社会福祉協議会がこれらの役割・事業を住民に対し存分に発揮し、住民とともに自助・共助・互助を基本とした『地域の福祉力』の強化に取り組み、開拓性、即応性、柔軟性を活かした事業展開が可能となるよう、社会福祉協議会としての考え方を整理し、また将来に対しての方向性も確立させ、取組みを強化していきたい。

1 社協基盤強化と活性化

I 会務の運営

平成 26 年度法人会務として、理事会を 3 回、評議員会を 3 回開催し、監事による会計監査は決算監査、月例会計監査を実施した。

(1) 理事会

期 日 平成 26 年 5 月 26 日 (月) 午前 9 時 00 分から

場 所 プラザけやき (201 会議室)

出席者 12 名、監事 2 名

報 告 ・平成 25 年度菊川市社会福祉協議会指導監査結果

議 題 ・菊川市社会福祉協議会評議員の選任

・平成 25 年度菊川市社会福祉協議会事業報告の認定

・平成 25 年度菊川市社会福祉協議会一般会計決算の認定

・平成 25 年度菊川市社会福祉協議会特別会計決算の認定

・平成 26 年度菊川市社会福祉協議会一般会計第 1 次補正予算

・平成 26 年度菊川市社会福祉協議会特別会計第 1 次補正予算

・みなみ保育園外部トイレ設置工事入札執行に係わる業者指名

期 日 平成 26 年 10 月 28 日 (火) 午前 9 時 00 分から

場 所 プラザけやき (201 会議室)

出席者 10 名

報 告 ・菊川市社会福祉協議会保育園事業県指導監査結果及び東部デイサービスセンターぎおんの里実地指導結果

・菊川市社会福祉協議会東部デイサービスセンターぎおんの里休止

・菊川市社会福祉協議会保育園事業分離に伴う新社会福祉法人の設立

議 題 ・菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正・改廃及び制定

・菊川市社会福祉協議会定款の一部変更

・平成 26 年度菊川市社会福祉協議会一般会計第 2 次補正予算

・菊川市社会福祉協議会通所介護事業所給食業務委託入札施行に係わる業者指名

・菊川市社会福祉協議会 OA 機器システムリース業務委託入札施行に係わる業者指名

期 日 平成 27 年 3 月 11 日 (水) 午前 9 時 00 分から

場 所 プラザけやき (201 会議室)

出席者 11 名

議 題 ・菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正

・菊川市社会福祉協議会定款の一部変更

・平成 26 年度菊川市社会福祉協議会一般会計第 3 次補正予算

- ・平成 26 年度菊川市社会福祉協議会特別会計第 2 次補正予算
- ・平成 27 年度菊川市社会福祉協議会事業計画
- ・平成 27 年度菊川市社会福祉協議会当初予算
- ・平成 27 年度きくがわ社協だより印刷業務委託入札執行に係わる業者指名

(2) 評議員会

- | | |
|-----|--|
| 期 日 | 平成 26 年 5 月 26 日 (月) 午後 1 時 30 分から |
| 場 所 | プラザけやき (201 会議室) |
| 出席者 | 30 名、監事 2 名 |
| 議 題 | <ul style="list-style-type: none"> ・菊川市社会福祉協議会理事の選任 ・平成 25 年度菊川市社会福祉協議会事業報告の承認 ・平成 25 年度菊川市社会福祉協議会一般会計決算の承認 ・平成 25 年度菊川市社会福祉協議会特別会計決算の承認 ・平成 26 年度菊川市社会福祉協議会一般会計第 1 次補正予算 ・平成 26 年度菊川市社会福祉協議会特別会計第 1 次補正予算 |
-
- | | |
|-----|---|
| 期 日 | 平成 26 年 10 月 28 日 (火) 午後 1 時 30 分から |
| 場 所 | プラザけやき (201 会議室) |
| 出席者 | 26 名 |
| 報 告 | <ul style="list-style-type: none"> ・菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正・改廃及び制定 ・菊川市社会福祉協議会東部デイサービスセンターぎおんの里休止 ・菊川市社会福祉協議会保育園事業分離に伴う新社会福祉法人の設立 |
| 議 題 | <ul style="list-style-type: none"> ・菊川市社会福祉協議会定款の一部変更 ・平成 26 年度菊川市社会福祉協議会一般会計第 2 次補正予算 |
-
- | | |
|-----|--|
| 期 日 | 平成 27 年 3 月 11 日 (水) 午後 1 時 30 分から |
| 場 所 | プラザけやき (201 会議室) |
| 出席者 | 29 名 |
| 報 告 | ・菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正 |
| 議 題 | <ul style="list-style-type: none"> ・菊川市社会福祉協議会定款の一部変更 ・平成 26 年度菊川市社会福祉協議会一般会計第 3 次補正予算 ・平成 26 年度菊川市社会福祉協議会特別会計第 2 次補正予算 ・平成 27 年度菊川市社会福祉協議会事業計画 ・平成 27 年度菊川市社会福祉協議会当初予算 |

(3) 会計監査

- 決算監査 平成 27 年 5 月 20 日 (水)
- 月例監査 毎月 25 日前後に実施

Ⅱ 役員・職員の研修

(1) 役員視察研修

期 日 平成 26 年 7 月 15 日 (火) から 16 日 (水)
場 所 兵庫県 社会福祉法人宝塚市社会福祉協議会
研修内容 地域福祉推進組織の先進的取組、社協総合化プロジェクト等について
出席者 役員 12 名、職員 3 名 計 15 名

(2) 部会及び委員会活動

保育園部会 毎月 1 回の保育園部会の開催
委員会活動 毎月 1 回の業務改善委員会を開催し、職員の資質向上を図った。

(3) 社協職員の業務研修

各事業に係わる各種専門研修に参加。

『チャレンジプログラム「チームワークとは何かを習得する」』
職員が「チームワーク」について考え、チームの機能やリーダーの役割など「チームワークとは何か」を習得し、本会がより結束された組織となることを目的として実施。

日 時 平成 26 年 11 月 20 日 (木) 午後 6 時 00 分～午後 8 時 00 分
会 場 プラザけやき 201 会議室
講 師 杉本知子 氏 (千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 教授)
井上政代 氏 (横浜市南福祉保健センター子供家庭支援課)

Ⅲ 会費納入状況

一 般 会 費

一 世 帯 @800 円 9,535,200 円 (11,919 世帯)

施設・団体会費

施設会員 @3,000 円 54,000 円 (18 施設 18 口)

団体会員 @1,000 円 6,000 円 (6 団体 6 口)

賛 助 会 費

法人会員 @3,000 円 747,000 円 (180 法人 249 口)

個人会員 @1,000 円 163,000 円 (114 人 163 口)

Ⅳ 共同募金事業

社会福祉法に基づき実施される募金事業で、全国一斉に 10 月 1 日から 12 月 31 日まで実施。菊川市における募金運動は、菊川市共同募金委員会が募金の募集・管理・静岡県共同募金会への送金等を行った。この募金の配分(助成)は本会および菊川市内各地域・施設等の行う社会福祉事業に活用されている。

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

＜募金実績＞

	平成 25 年度	平成 26 年度
戸別募金	3,882,211 円	3,959,105 円
法人募金	1,114,844 円	1,172,775 円
その他	292,368 円	309,956 円
合 計	5,289,423 円	5,441,836 円



(2) 歳末たすけあい運動の実施

＜募金実績＞

	平成 25 年度	平成 26 年度
戸別募金	1,663,801 円	1,696,759 円
その他	531,595 円	376,823 円
合計	2,195,396 円	2,073,582 円



2 地域福祉推進事業

地域福祉サービス事業については、

- ① 小地域福祉活動推進事業として、地域福祉活動の担い手である地域サポーターやふれあいいきいきサロン関係者、地区社協関係者に向けた講座や連絡会の実施
- ② 地域福祉推進基礎組織育成モデル事業として、地域福祉を推進し地域のニーズを地域で解決していく地域福祉推進基礎組織を既設の 7 地区のほか、新たに 4 地区（内田・横地・西方・小笠南）をモデル地区に設置し育成
- ③ 市内 11 地区において、みんなのしあわせ懇談会を各地区での地域課題を探り出し事業展開に反映させるとともに、地域住民との懇談及び資料提供を通じて地域課題や小地域福祉活動の必要性の理解を図ることを目的に開催

以上について重点的な実施及び推進を図りました。

I 市民福祉教育の推進事業

(1) 市民社会福祉大学

日 時 平成 27 年 3 月 15 日（日）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

場 所 プラザけやき 201 会議室

報 告 「菊川市における認知症対策について」
報告者 菊川市役所長寿介護課担当者

講 演 ～あなたは認知症予防していますか～
「認知症になった波平」

講 師 渡辺哲雄氏



(日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員)

参加者 93 名

(2) みんなのしあわせ懇談会

菊川市地域福祉アドバイザー（菊川市社会福祉協議会委嘱）の平田 厚氏がファシリテーター（進行役）となり、「住みやすいですか あなたの地区は～これからの5年後、10年後を見据えて～」をテーマに懇談を進めました。



開催日時と参加人数

	開催地	開催月日	参加人数		開催地	開催月日	参加人数
1	横地地区	8月20日(水)	44	7	内田地区	9月4日(木)	42
2	河城地区	8月21日(木)	43	8	小笠南地区	9月8日(月)	60
3	加茂地区	8月27日(水)	50	9	嶺田地区	9月22日(月)	33
4	六郷地区	8月28日(木)	42	10	平川地区	9月26日(金)	49
5	西方地区	8月29日(金)	56	11	町部地区	9月29日(月)	33
6	小笠東地区	8月30日(土)	46	合計			498

開催時間：午後7時00分～9時00分

(3) 地域福祉教育実践校助成事業

小・中学校及び高等学校の児童生徒に対し、地域住民との関わりを持った福祉教育を学校と連携しながら幅広く福祉学習の機会を提供することや、地域と関わりを持ち、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に、市内9小学校、4中学校、1高等学校に助成金を交付するとともに、福祉教育に関する相談・プログラムの提供と調整・作成等に関わり各校の取り組みを支援した。

Ⅱ 小地域福祉活動の推進事業

(1) 小地域福祉活動推進事業

小地域福祉活動コーディネーターが、小地域福祉活動を支援しその活動を活性化することを目的に、研修や情報交換のため、下記連絡会等を開催した。

ア 地域サポーターの集い

地域サポーターによる小地域福祉活動が市内各地で様々な形で実践されてきているなか、地域サポーターのモチベーションの向上やフォローアップを目的として実施した。

日 時 平成 27 年 2 月 6 日（金）午後 2 時 00 分～

場 所 プラザけやき 201 会議室

内 容 講座 『ボランティアと守秘義務（秘密保持）～地域の住民活動で知っておきたい「個人情報の取り扱い」について～秘密を守るのは当たり前、でも「ついうっかり」ということもあります～』

講 師 清水将一氏（静岡福祉大学 福祉心理学科 教授）

参加者 32 名



イ ふれあい・いきいきサロン連絡会

市内には 35 か所のふれあい・いきいきサロンの運営支援を図ることを目的として、お互いのサロン運営についての情報交換とレクリエーション技術向上を図れるよう交流会を開催した。

日 時 平成 26 年 7 月 29 日（火）午後 1 時 30 分～

場 所 プラザけやき 201 会議室

内 容 グループごとに分かれての情報交換会

参加者 32 名



ウ 地区社会福祉協議会情報交換会

地域福祉推進基礎組織育成モデル事業により平成 24 年度に 3 地区、平成 25 年度に 4 地区、平成 26 年度に 4 地区をモデル地区として地区社会福祉協議会の設置を

図っており、それらの地区社会福祉協議会の運営支援を目的として、それぞれの活動についての情報交換の場を設けた。

日 時 平成 26 年 9 月 19 日（金）

午後 1 時 30 分～

場 所 プラザけやき 201 会議室

内 容 各地区社協事業報告発表及び意見交換

参加者 32 名



エ 地域サポーターの発掘・育成・支援

社会福祉協議会と一緒に小地域福祉活動を進めてくれる協力者を地域サポーターとして登録し、地域福祉推進の担い手として育成し活動の支援を行った。

地域サポーター登録者数（平成 26 年度末）

地 区 名	登録者数	地 区 名	登録者数
西方地区	11 名	河城地区	35 名
町部地区	21 名	平川地区	39 名
加茂地区	31 名	嶺田地区	15 名
内田地区	28 名	小笠南地区	20 名
横地地区	6 名	小笠東地区	16 名
六郷地区	11 名	総 計	233 名

（３） 地域福祉推進基礎組織育成モデル事業

地域福祉を推進し、地域のニーズを地域で解決していくための地域福祉推進基礎組織の育成を図ることを目的にモデル地区として、市内全地区を指定し、各地区のコミュニティ協議会に地域福祉の推進を図る部会を設置し、地域福祉推進基礎組織の育成を図った。

また、社会福祉協議会の職員（小地域福祉活動コーディネーター）が各地区の活動を支援をした。

各地区の取り組み

ア 西方地区

西方地区内の 4 自治会において高齢者サロンを開催した。堀之内小学校事業への協力を通し、学区内の 77 歳以上高齢者世帯を対象に、手作りのお守りとメッセージカード配布を行った。お守りとメッセージカードは、堀之内小学校 6 年生児童の協力を得て制作した。



内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	6 回開催	—
公文名サロン	5 月 21 日 (水)	25 名
堀之内サロン	7 月 10 日 (木)	26 名
沢田サロン	8 月 27 日 (水)	20 名
田ヶ谷サロン	10 月 28 日 (火)	40 名
堀之内サロン	11 月 26 日 (水)	24 名
お守り・メッセージカード制作	12 月 8 日 (月)	56 名
堀之内小学校事業への協力	12 月 17 日 (水)	5 名
西方地区節分祭	2 月 2 日 (月)	31 名

イ 町部地区

町部地区を 4 つの地域に分け、高齢者のふれあいいいききサロンを開催した。また、福祉講演会、健康講座、見守り活動の研究を行った。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	11 回開催	—
日吉町・宮前・緑ヶ丘サロン	4 月 17 日 (木)	23 名
	7 月 17 日 (木)	18 名
	2 月 19 日 (木)	22 名
柳町サロン	6 月 19 日 (木)	13 名
	10 月 23 日 (木)	12 名
	1 月 22 日 (木)	11 名
新通・初咲町・日之出 1・本通り・西通りサロン	5 月 22 日 (木)	22 名
	8 月 14 日 (木)	13 名
	12 月 11 日 (木)	21 名
	3 月 26 日 (木)	17 名
福祉講演会	9 月 6 日 (土)	—
健康講座	2 月 21 日 (土)	23 名
見守り活動の研究	5 月 19 日 (月)	—

ウ 加茂地区

継続事業として、小川端自治会、白岩下自治会、白岩段自治会のそれぞれの公会堂において「高齢者サロン」を開催した。白岩東自治会においては、誰もが参加できる「白岩東拠り所」が今年度開所となった。

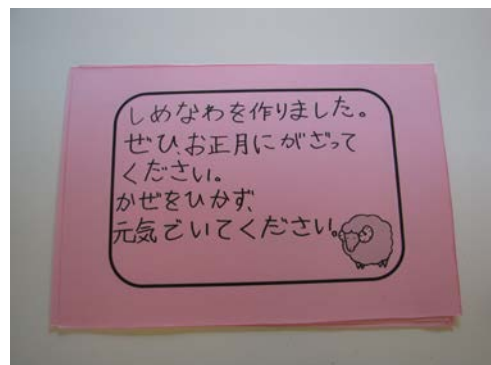
また、恒例の「しめ飾りをひとり暮らし高齢者に届ける企画」についても、加茂

小学校4年生と共に実施した。

サポーター事業は、コミュニティ協議会生き生き部会事業に移行し、生き生き部会で協議を進め、「講演会」や「昔話を聞く会」などを実施した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	5回開催	—
小川端サロン（対象：80歳以上）	5月23日（金） 7月28日（月） 12月18日（木） 3月7日（土）	37名 56名 28名 48名
白岩下サロン（対象：80歳以上）	6月30日（月） 9月8日（月） 11月30日（日） 3月1日（日）	35名 34名 35名 41名
白岩段サロン（対象：80歳以上）	5月20日（火） 10月30日（木） 12月16日（火） 3月3日（火）	25名 37名 27名 28名
白岩東抛り所（対象：白岩東自治会住民）	11月5日（水） 12月3日（水） 1月7日（水） 2月4日（水） 3月4日（水）	18名 18名 13名 16名 18名
しめ飾りをひとり暮らし高齢者に届ける企画	12月23日（火）	18名



エ 内田地区

内田地区内において、徳々サロンとひだまりの会を開催した。

「徳々サロン」は東平尾、平尾、西平尾の3地区から、「ひだまりの会サロン」は内田全地域の一人暮らし高齢者の方、日中一人の方に声掛けをしサロンを行った。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	9回開催	—
徳々サロン【東平尾】（東平尾公民館）	5月27日（火） 8月19日（火） 11月4日（火） 2月13日（金）	25名 25名 17名 22名
徳々サロン【平尾】（西平尾公民館）	5月23日（金） 8月8日（金） 11月20日（木） 3月10日（火）	23名 31名 22名 22名
徳々サロン【西平尾】（西平尾公民館）	6月3日（火） 7月29日（火） 10月28日（火） 2月10日（火）	15名 32名 17名 23名
ひだまりの会（内田地区センター）	5月15日（木） 8月14日（木） 11月20日（木） 2月19日（木）	15名 20名 20名 19名



オ 横地地区

本年度から、七重会配食事業を地域サポーターと一緒に活動を始め、配達から回収、弁当箱の洗浄から片付けまで行った。また横地いきいきサロンと横地地区センターまつりにも参加し、当日の運営に携わった。

<内容・実施状況・参加人数>

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	6回開催	—
横地いきいきサロンへの参加	10月11日（土）	86名
横地地区センターまつりへの参加（バザー販売）	11月16日（日）	—



カ 六郷地区

菊川市主催の「セカンドライフセミナー」の第2部として「ろくごうの集い」を開催し、六郷地区に居住する65歳の方のセカンドライフを支援するネットワークづくりの企画として実施した。

また、ふれあいの居場所づくりのため、小出自治会のサロン「ひばりの会」の支援を行った。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
ろくごうの集い	1月31日（土）	83名
サロン活動ひばりの会への運営支援	—	—

キ 河城地区

昨年度に引き続き、和田、沢水加、東富田、西富田、上倉沢、友田の6地区において、サロン活動や三世代交流事業等を実施した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	1回開催	10名
おたっしやクラブ（和田地区）	4月9日（水）	32名
	7月8日（火）	31名
	9月13日（土）	51名
	10月7日（火）	33名
	11月11日（火）	34名
	12月11日（木）	29名
	12月23日（火）	
	午前 午後	84名 84名
	2月2日（月）	86名
沢水加いきいきサロン（77歳以上）	4月13日（日）	35名
	8月24日（日）	32名
	12月14日（日）	32名

内容	実施状況	参加人数
	2月4日 (水)	27名
東富田ふれあいサロン (70歳以上)	4月6日 (日)	29名
	8月6日 (水)	22名
	12月12日 (金)	22名
	2月2日 (月)	16名
	3月13日 (金)	24名
西富田ふれあいサロン (70歳以上)	8月5日 (火)	38名
	10月30日 (木)	35名
	12月20日 (土)	36名
	2月26日 (木)	35名
友田有志会	4月3日 (木)	13名
	7月26日 (土)	25名
	8月17日 (日)	25名
	10月18日 (土)	25名
	12月21日 (日)	25名
上倉沢ふれあいサロン	8月1日 (金)	19名
	11月18日 (火)	12名



ク 平川地区

(ア) CART ひらかわサポーター

20名の地域サポーターが、平川地区にお住まいの一人暮らし高齢者(75歳以上)現在25名の見守り活動を行っている。この活動は、日常的な見守りが必要な人のちょっとした変化や異変に気づくことが重要であり、各担当地区の民生委員児童委員、地域住民(近隣)の協力を得て実施している。

また、高齢者が、安全・安心を確保することを目的に、万一の救急時に救命作業を敏速に行うために備える、救急医療情報キットの配布に努め、現在88名に配布し、地域普及活動に取り組んでいる。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	12 回開催	—
平川地区みんなの交流会への参加	7 月 20 日 (日)	8 名
ふるさと夏まつり小笠への参加	8 月 9 日 (土)	—
平川会館まつりへの参加	11 月 8 日 (土)	—
小笠北小学校周辺の草取り 地域周辺ゴミ拾い	6 月 7 日 (土)	—
	9 月 28 日 (日)	—
	3 月 29 日 (日)	—
平川地区の見守り運動	随時実施	—
救急医療情報キットの普及	随時実施	—
堤サロン (堤公会堂)	7 月 17 日 (木)	7 名
	11 月 20 日 (木)	6 名
	2 月 26 日 (木)	10 名



(イ) おいでよお平川

19 名の地域サポーターが、ひらかわ会館において、高齢者の居場所づくりとなるサロンを開催した。また、「ひらかわ劇団」の活動においては、高齢者を取り巻く様々な被害を防ぐための注意点を、アドリブをふんだんに交えながら防犯の啓発を行っている。この活動は、平川地区だけではなく、市内、市外からも公演依頼があるため、積極的に公演活動を行っている。今後も高齢者にとって必要な情報提供を、菊川警察署安全課の協力を得ながら実施していく。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	12 回開催 24 回 (寸劇練習)	—
ひらかわサロン	6 月 10 日 (火)	55 名
	9 月 22 日 (月)	48 名
	12 月 16 日 (火)	54 名
	3 月 9 日 (月)	44 名
ひらかわ劇団の公演活動	15 回	—
平川地区みんなの交流会への参加	7 月 20 日 (日)	—

内容	実施状況	参加人数
ふるさと夏まつり小笠への参加	8月9日 (土)	—
平川会館まつりへの参加	11月8日 (土)	—



ケ 嶺田地区

平成25年度より、地域福祉推進基礎組織育成モデル事業により、みねだ地域づくり協議会の地域福祉・健康部会を地区社協と位置付けその中で、15名の地域サポーター（サポーターみねだ）と民生委員児童委員が中心となってみねだ会館を拠点に小地域福祉活動を展開している。

「地の神様で地域づくり」は地域で参加者を募り、世代間交流を行うとともに、地域のひとり暮らし高齢者への見守り声かけ活動の一環となるよう民生委員児童委員とともに地の神様を配布する事業である。

「みねだおげんき会」は、民生委員児童委員と協働で嶺田地区にお住まいのひとり暮らし（日中独居も含む）高齢者を対象とした集いである。

「災害時にも使える福祉見守りマップづくり」は、地区社協のメンバーが自治会長や防災委員に参加を呼び掛け、地域で福祉的な見守り支援が必要な方を本人の同意に基いて、話し合いを行ったうえで自治会毎のマップに掲載していく事業である。26年度は平成23年度に作成したものの更新を行った。

「福祉講演会」は、嶺田地区における福祉に関する学びの場として実施した。

「豆まき」は、小さな子どもからお年寄りまで老若男女多くの方が参加できるイベントとして行った。「水ようおはなし会」による節分の寸劇やクイズなどのレクリエーションにより楽しい時間を提供した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	12回開催	—
災害時にも使える福祉見守りマップづくり	6月8日 (日)	59名
介護予防講座	7月12日 (土)	—
みねだおげんき会（脳いきいき講座も含む）	5回開催	—

地の神様で地域づくり！！	11月15日（土）	23名
福祉講演会	1月17日（土）	37名
豆まき	2月1日（日）	300名



コ 小笠南地区

平成26年度より、地域福祉推進基礎組織育成モデル事業により、みなみやまコミュニティ協議会の地域福祉部会を地区社協と位置付けその中で、20名の地域サポーターが中心となってみなみやま会館を拠点に小地域福祉活動を展開している。現在、「家事援助サービス事業」を実施しており、地域に住まわれる支援が必要な方に対する、家事における簡易な困りごとの支援を行った。

夏休みに小さな子どもから年配の方まで参加できる「クラフトフラワーづくり」を実施した。

地域の福祉情報やみなみやまの会の活動を掲載する「みんなみだより」の発行やみなみやま会館まつりで「地の神様づくり体験教室」を実施し、来場者への活動PRを行った。

「福祉講演会」では小笠南地区における福祉に関する学びの場づくりとして実施した。

また、みなみやまゆうゆうサロンに来られない方をサポートする「出前サロン」は高橋中自治会を対象に実施した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	12回開催	—
出前サロン	5回開催	約100名
地の神様づくり体験教室	11月3日（月）	40名
家事援助サービス事業	76回支援	—
クラフトフラワーづくり	7月21日（月）	11名
みんなみだよりの発行	毎月発行	—



サ 小笠東地区

平成 24 年度より、小笠東地区コミュニティ協議会のサポーター部会（小笠東地区社会福祉協議会）として、地域福祉推進基礎組織育成モデル事業のモデル地区となり、16 名の地域サポーターがくすりんを拠点に小地域福祉活動を展開した。

地域で参加者を募り「地の神様で地域づくり」を実施し、世代間交流を行うとともに、地域のひとり暮らし高齢者への見守り声かけ活動の一環となるよう、民生委員児童委員とともに地の神様を配布した。

また、「災害時にも使える福祉見守りマップ作り」では、地区社協のメンバーが自治会長や防災委員に参加を呼び掛け、地域で福祉的な見守り支援が必要な方を本人の同意に基いて、話し合いを行ったうえで自治会毎のマップに掲載していく事業を実施した。

「福祉講演会」では、小笠東地区における福祉に関する学びの場づくりとして実施した。

その他にも、くすりん豆まきの会やくすりん祭りへの出店等に活動された。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	12 回開催	—
災害時にも使える福祉見守りマップづくり	7 月 27 日 (日)	45 名
地の神様で地域づくり	11 月 22 日 (土)	44 名
くすりん豆まきの会	1 月 24 日 (土)	約 300 名
福祉講演会	2 月 14 日 (土)	37 名



(4)ふれあい健康づくり

開催日時と場所

回	開催日	場所	参加人数
1	平成 26 年 5 月 31 日 (土) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分	菊川市総合保健福祉センター<プラザけやき> 201 会議室	28 名
2	平成 26 年 6 月 28 日 (土) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分	菊川市総合保健福祉センター<プラザけやき> 201 会議室	28 名
3	平成 26 年 7 月 24 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分	菊川市総合保健福祉センター<プラザけやき> 201 会議室	33 名
4	平成 26 年 8 月 28 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分	菊川市総合保健福祉センター<プラザけやき> 201 会議室	29 名

講 師 居場所づくり研究所
代表 田井中 正志 氏



Ⅲ 地域福祉の実現研究事業

(1) 地域福祉活動計画策定事業

平成 27 年度に菊川市が策定する地域福祉計画と一体的に計画を策定するために、住民アンケートを実施し、集計作業を行った。

(2) 「ひきこもり」問題に社会福祉施設・団体の連携での取り組み

「ひきこもり」支援における基礎的な知識や情報を共有化し、「ひきこもり」の問題を抱える当事者やその家族への具体的な支援を行った。

ア ひきこもり・不登校無料相談会

元教育相談員、スクールカウンセラー 4 名の方が相談員として、主任児童委員の協力を得てひきこもりや不登校の本人や家族からの相談に応じた。

相談日時 毎月第 1・第 3 月曜日 午後 1 時 00 分～午後 4 時 00 分

相談件数 140 件 (平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

相談実人数 不登校相談 15 人 ひきこもり相談 55 名

イ 相談ケース会議

毎月第 4 週に相談員同士でケース会議を行い、支援方策等を出し合った。

また、主任児童委員定例会に於いて、相談内容を報告し、情報の共有を行った。

ウ 当事者家族、関係者ひきこもり学習会
 日 時 平成 26 年 9 月 4 日（木）
 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
 講 演 「家庭を治療の場に」
 講 師 SCS カウンセリング研究所
 カウンセラー 岩田春代氏
 参加者 34 名



エ 中間的就労の支援

ひきこもり、不登校の方の家族に中間的就労支援の説明を行い、市内の社会福祉施設等の協力を得て本人の就労体験の場として受け入れをいただき、就労意欲を高めるために中間的就労の提供を支援した。

就労支援相談者数：7 名

就労体験利用者数：3 名

中間的就労利用者数：1 名

（3） 集合住宅入居者への地域参加の働きかけと障がい者の地域移行の促進

アパート等の集合住宅入居者と地域コミュニティとの関わりが薄い現状が、自治会や民生委員児童委員等の地縁系組織からの福祉的支援を受けられないことや、近年社会問題となっている「孤立死・無縁死」「児童虐待」「災害時の地域での救援・救助活動への大きな支障」といった様々な課題と関連があるものと考えられる。

また、障がい者の地域移行にあたっては、地域と関わりながら社会性を持った生活を行うこと、社会的に入所（入院）されている方の生活の場を地域社会に移行することがともに、地域移行であると考えた時、地域における福祉的理解が必要であるものと考えられる。これらの現状と課題に基いた支援方策を検討する場として委員会を実施した。

実施内容	開催期日等
集合住宅入居者への地域参加の働きかけと障がい者の地域移行の促進について考える委員会	第 1 回委員会（平成 26 年 8 月 26 日＜火＞） 委員 7 名
	第 2 回委員会（平成 26 年 10 月 7 日＜火＞） 委員 7 名
	第 3 回委員会（平成 26 年 11 月 11 日＜火＞） 委員 7 名
	第 4 回委員会（平成 26 年 12 月 24 日＜水＞） 委員 7 名
	第 5 回委員会（平成 27 年 3 月 4 日＜水＞） 委員 7 名

（4） 調査・研究事業

平成 27 年 4 月に生活困窮者自立支援法が施行され、本会にて自立相談事業を受託するにあたり、生活福祉資金貸付事業及び日常生活自立支援事業利用者に利用さ

れた際の実情を把握することにより、本会の今後の取り組みに繋げていくことを目的にアンケートを実施した。

実施方法：郵送方式

対象者：74名

回答率：21.6%

(5) 権利擁護推進事業

本年度は、市民社会福祉大学の中で「認知症」をテーマとした講演会を開催し、市民に向けた権利擁護推進の意識啓発を図った。

(6) 3障がいで活動するボランティア講座

身体障がい、知的障がい、精神障がいといった障がい分野を問わず、活動できるボランティアを養成するため、担い手の少ない身体障がい者へのボランティア講座を実施した。

開催日 平成26年11月13日(木)

午後1時30分～午後4時00分

内 容 講義及び交流

会 場 社会福祉法人和松会

障害者支援施設清松園

参加者 11名

講 師 社会福祉法人和松会

障害者支援施設清松園

施設長 大塚 さおり 氏



IV 福祉イベント開催及び担い手育成事業

(1) 広報活動事業

地域福祉推進への意識啓発を目的に「社協だより」「ホームページ」「ブログ」「市広報」等を通じ多面的に展開した。また、よりよい広報活動を展開するために、広報モニターを設け、それぞれにアンケート調査を実施し、アンケートやモニター会議で出された意見を参考にわかりやすい広報活動に努めた。

ア 社協だより 発行回数 月1回 計12回 発行部数 約14,600部/月

イ ボランティアセンターだよりの発行(ボランティアセンターの広報・啓発)

発行回数 月1回 計12回

発行部数 約14,600部/月

ウ ホームページの運営及びブログによる情報発信



(2) ふれあい広場

子どもも高齢者も、障がいを持つ人も持たない人もお互いが共に助け合い、一緒に生きていく喜びを感じられる住み良い菊川市を築くため、また、福祉について考えるきっかけづくりとするために開催した。例年どおり、運営委員会と実行委員会とで協議を重ね、当日は実行委員団体やボランティアの相互の協力により、随所でふれあいや笑顔が溢れるふれあい広場となった。新たに実行委員に加わった福祉団体もあり、新たな出会いの場にもなった。

日 時 平成 26 年 10 月 25 日 (土)
午前 9 時 30 分～午後 3 時 00 分
会 場 菊川市民総合体育館
参加団体 42 団体
参加人数 約 600 名 (内関係者 約 370 名)



(3) 菊川市社会福祉大会開催事業

近年、私たちを取りまく環境は、困窮・貧困、虐待、孤立死、自殺、DV（家庭内暴力）被害、ひきこもりなど、なかなか解決には至らない深刻な福祉・生活問題が存在しており、既存の社会保障・社会福祉制度では十分に対応しきれていないことは多くの人を感じているところである。また、東日本大震災以降、自助や共助による防災対策の必要性がこれまで以上に認識され、地域住民による様々な取り組みが行われている。

このように、誰もが安心していきいき暮らすことができる菊川市の実現に向けて、若者も高齢者も全ての人々が自助・共助・公助の下に持てる知恵と能力を結集し、地域力を高めるために開催した。

名 称	平成 26 年度菊川市社会福祉大会		
主 催	菊川市社会福祉協議会		
日 時	平成 27 年 2 月 11 日 (水・祝) 午後 1 時 00 分～		
会 場	菊川文化会館アエル小ホール		
参 加 者	335 名		
内 容	菊川市社会福祉協議会会長表彰	個人 21 名	
	菊川市社会福祉協議会会長感謝状贈呈	3 団体 2 個人	
	静岡県共同募金会会長感謝状贈呈伝達	2 団体	



—大会宣言可決—

講 演 (テレビ寺子屋公開録画)
テ ー マ『落ち込みグセから脱出する
心理テクニック』
『人生が 180 度変わる幸せ発見法』



講 師 衛藤 信之 氏

(日本メンタルヘルス協会 代表・心理カウンセラー)

(4) 精神障がい者組織化支援・交流事業

ア グラウンドゴルフ・スカットボール大会 (当事者交流)

近隣当事者の交流および組織化を支援するため、掛川市社協、御前崎市社協と共催で実施した。

開催日時 春の大会 平成 26 年 5 月 15 日 (木)

秋の大会 平成 26 年 11 月 6 日 (木)

午前 10 時 30 分～午後 2 時 30 分

開催場所 掛川市総合福祉センター「あいり～な」

御前崎市比木体育館・運動場

参 加 者 春の大会 160 名

秋の大会 119 名

協 力 あしたばの会、ふきのとう、やすらぎ会、
ジョイントサークルかたくり、民生委員児童委員協議会
菊川市・掛川市・御前崎市内のデイケア、社会復帰施設
菊川市・掛川市・御前崎市福祉課

イ 精神障がい理解普及啓発交流事業「ふれあい企画」

若年層（主として高校生）の精神障がいに対する理解を深めることを目的に、社会福祉法人Mネット東遠との共催において行った。

開催日時 1 回目：平成 26 年 6 月 15 日 (日) 午前 9 時 00 分から正午

2 回目：平成 26 年 12 月 14 日 (日)

午前 9 時 00 分から午前 11 時 30 分

開催場所 プラザけやき、東名菊川インター

内 容 グループワーク、花植え、レンガアート

参 加 者 1 回目：学生 15 名、総勢 46 名

2 回目：学生 10 名、総勢 38 名

協 力 NEXCO 中日本、あしたばの会、水掛けボランティア

後 援 菊川市



(5) 共同募金運動推進事業

ア ふれあい広場会場にて共同募金運動の普及活動

イ 住民参加による共同募金配分

ウ 歳末たすけあい募金配分金事業

申請方式による配分金配布を行う歳末たすけあい募金配分金事業を施行している。お寄せいただいた歳末たすけあい募金を、一人暮らしの高齢者世帯や母子家庭など援助を必要としている世帯へ、「あたたかくお正月を迎えていただけるように」と配分した。

配分決定世帯 46 世帯

エ 歳末たすけあい募金助成事業

障害者総合支援法に規定する就労継続支援B型事業所（以下、事業所）の工賃が低く利用者の生活も大変であるという現状を踏まえ、歳末たすけあい運動の趣旨に基づき、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるように、事業所に通う菊川市に住所を有する方と事業所に対し助成を行った。

事業所利用者 102 名 事業所 5ヶ所

(6) 大規模災害被災時対応訓練

大規模災害発生時に「菊川市社会福祉協議会災害対策本部」を設置し、社協の役割を明確にするとともに、関係団体と協働して「災害ボランティア支援本部」を立ち上げる。「災害ボランティア支援本部」の流れを多くの方が理解することで、地域防災力（＝地域の福祉力）を高める。また、関係機関との連携の強化を図ることで、災害時要援護者支援対策をより具体化していく。

訓練は、2日間に分散して実施し、「災害ボランティア支援本部」の調整方法（マッチング）については、その方法を検証する。平成26年度については、例年どおり1日目に社協災害対策本部設置訓練、2日目に「災害ボランティア支援本部」立上げ運営訓練、大型調理器具を活用した非常食の体験訓練などを実施した。

日 時 1日目 平成26年8月29日（金）

2日目 平成26年8月30日（土）

会 場 プラザけやき 他市内福祉施設等へ派遣

参加者 173名（関係ボランティア、福祉施設、民生委員児童委員、防災指導員、中学生、市内福祉施設、各種団体、個人、行政職員、社協職員、他）

訓練内容 生活基盤整備訓練（身障者用トイレ設置・炊き出し・発電機等）
「災害ボランティア支援本部」立上げ・運営訓練（マッチング方法）
職員緊急連絡網使用訓練



(7) 地域巡回型介護レクリエーション予防出前講座

市内の各地区にある老人クラブ（単位老人クラブ）、地域サロンに対し、保健師と一緒に「ロコモ予防講座～運動機能アップのために」出前講座を実施した。

また、ふれあい健康づくり事業として、健康でいきいきとした生活を送るために、地域に出向き体操やレクリエーション等の健康予防講座を実施した。

さらに、高齢者のサポート活動をする上で必要なレクリエーション活動の取り組みについての講座を実施した。

講座開催状況

	参加者	内 容
出前講座	470 名 (男性 134 名 女性 278 名 スタッフ 58 名)	活動的な生活を送るための 健康体操
ロコモ予防講座	152 名 (男性 13 名 女性 139 名)	65～75 歳のための 体操教室
地域巡回型介護レク予防出前講座	839 名 (男性 196 名 女性 497 名 スタッフ 125 名 学童 21 名)	自宅でも気軽に実践できる健康体操 レクリエーション
ボランティア体験講座	21 名 (男性 2 名 女性 16 名 スタッフ 3 名)	高齢者のサポート 体験講座
サポーター向け体験講座	15 名 (男性 4 名 女性 11 名)	レクリエーション活動取り組みについての体験講座



(8) 菊川市慰霊祭（小笠地域）開催事業

小笠地区慰霊祭の開催。神式と仏式を交互に1年ごと実施しており、平成26年度は仏式での慰霊祭を行った。

日 時 平成26年9月18日（木）午前9時00分～

会 場 菊川市民総合体育館

参列者 249名

（祭主・主催者6名、遺族：平川地区33名、嶺田地区32名、小笠南地区20名 小笠東地区45名、会員外2名、来賓72名、靖国和讃奉仕者13名、僧侶8名、社協職員10名 福祉課職員6名、写真ボランティア2名）



(9) ガイドヘルパー初任者講習

現任ガイドヘルパー講習にあわせ、一般市民の方たちに視覚障がい者への理解を広めるために、ガイドヘルパー講習を開催した。

日 時 平成26年9月6日（土）午前9時00分～正午

会 場 プラザけやき 201 会議室

内 容 講義「移動介助の基礎知識」
演習「移動介助の基本技術」

講 師 光陽荘 副施設長 伊東眞由美氏

参加者 14名（登録者外4名）



V 総合相談及び生活支援事業

(1) 福祉総合相談事業

複雑かつ多様化する福祉ニーズに応じた総合的な相談事業を実施した。

来所及び電話相談に対応した。財産、精神保健、法律関係、苦情、離婚、家族問題、住宅、医療、職業、障害者福祉、その他の相談を受けた。関係機関につなぐ相談が多くあった。

相談日時 月～金 午前8時15分～午後5時00分

相談場所 プラザけやき

相談員 社会福祉協議会職員(福祉総合相談員)

相談件数 58 件 （平成25年度 58 件）

(2) 心配ごと相談事業

財産、家族、生計に関する相談が多くあった。弁護士無料相談や司法書士相談等を紹介した。

相談日時 毎月4回 原則1日、20日 午前9時00分～正午

5日、15日 午後1時00分～午後4時00分

場 所 プラザけやき（1日、15日） 市役所小笠支所（5日、20日）

相談員 民生委員児童委員12名 人権擁護委員8名 行政相談委員2名

相談件数 57件（平成25年度63件）

		平成25年度		平成26年度	
		プラザけやき	市役所 小笠支所	プラザけやき	市役所 小笠支所
相談件数		35件	28件	28件	29件
処理状況	解決	4件	16件	7件	14件
	再来	2件	0件	1件	0件
	民生委員	0件	0件	2件	0件
	他機関	7件	7件	11件	11件
	その他	15件	5件	7件	4件

相談員研修会

日時 平成26年7月31日(木)

午後1時30分～午後3時30分

場所 プラザけやき

内容 講義「心配ごと相談員に求められる役割とは」

講師 ふるい後見事務所

社会福祉士 古井 慶治 氏



日時 平成27年3月17日(火)

午後1時30分～午後3時30分

場所 ひらかわ会館

内容 講義「司法書士へつなぐ相談内容とは」

講師 司法書士 桑原 淑浩氏



(3) 結婚相談事業

毎月2回の結婚相談日を設け、結婚相談所登録者からの相談に応じた。

また、月1回の定例会と年4回の四市一町結婚相談員連絡会においては、結婚相談員同士の情報交換や意見交換を行った。(菊川市、磐田市、袋井市、掛川市、森町) 同時に各市町担当者間の連携を図り、よりよい結婚相談所の運営に努めた。

相談場所 プラザけやき

相談日時 毎月第1金曜日 午後6時00分～午後9時00分

奇数月は「女性のための結婚相談日」

毎月第3日曜日 午前9時00分～正午

相談員 10名（1回の相談を2名で対応）

相談実績

	平成25年度	平成26年度
	プラザけやき	プラザけやき
延開催回数	24回	24回
登録者数	88名（男性68・女性20）	91名（男性67・女性24）
相談日受付件数	190件	214件
相談日外活動件数	221件	184件
見合い設定件数	72件	100件
結婚成立件数	女性2名 男性1名	女性2名 男性3名
市結婚相談員連絡会	12回	12回
4市結婚相談員連絡会	4回	4回

ア 婚活イベント開催

菊川市が市制10周年記念事業として婚活イベントを開催した。社会福祉協議会も共催となり、結婚相談員3名も加わり一緒にイベントを盛り上げた。



日時 平成26年12月13日（土）

午後1時00分～午後4時15分

会場 菊川文化会館アエル 小ホール

講師 森川友義氏（早稲田大学国際教養学部教授）

参加者 1部 恋愛学講演会 102名

2部 婚活イベント

男性29名（参加費3千円）

女性20名（参加費2千円）



（4）生活福祉資金貸付事務及び相談支援

生活に困窮している世帯などを対象に、低利な資金を貸し付けることにより、世帯の経済的自立を支援した。

新規貸付件数

貸付資金種別		平成 25 年度	平成 26 年度
総合支援資金	生活支援費	0 件	1 件
	住宅入居費	0 件	0 件
	一時生活再建費	0 件	0 件
緊急小口資金		7 件	3 件
臨時特例つなぎ資金		0 件	0 件
福祉資金		0 件	0 件
教育支援資金		0 件	2 件
計		7 件	6 件

(5) 小口資金貸付事業

生活資金が一時的に欠乏し、生活が困窮状態にあると認められる者を対象に貸付を行った。

<貸付件数>

貸付資金種別	平成 25 年度	平成 26 年度
小口資金	6 件	4 件

※平成 26 年度新規貸付件数 0 件

(6) セーフティネット支援ネットワーク事業

地域において、既存制度では対応できない人、制度の狭間にいる人、生活困窮から必要なサービスを受けられない人及び重複した生活課題を抱える人等の支援を必要とする人々に対し、菊川市内の社会福祉関係機関が連携し、継続的な相談支援を行うとともに、必要に応じて経済的援助を行い、自立した生活を支援するためにネットワーク構築を行った。

検討事例数 0 件

(7) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等自分ひとりで大切な事柄の決定をすることに不安を感じている人に対して、福祉サービスの利用援助や利用料の支払い援助等を行えるよう利用者、県社協そして本会との 3 者契約により生活支援員による支援サービスを提供した。

<相談件数・利用者数>

	平成 25 年度	平成 26 年度
相談件数	950 件	308 件
利用契約者	11 名	12 件

VI 福祉サービス事業

(1) 福祉有償運送事業

菊川市に在住するひとり暮らしで身体の不自由な高齢者、身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者で、移送手段を確保することが困難なため、医療、福祉施設等本人が希望するサービスの利用や外出等が困難な人に対して、福祉有償運送事業を実施した。

平成 26 年度 運行実績 (H25 実績 237 件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	20	18	24	13	14	9	20	20	25	21	18	19	221

(2) 特殊寝台貸出事業及び福祉用具貸出事業

福祉用具の貸与を行った。高齢者から若年者まで、幅広い年齢層で利用があった。地域包括支援センターや病院、ケアマネジャー等の関係機関からの問い合わせや紹介も多数あった。

《年間利用実績》

貸与機種	貸付台数	
	平成 25 年度	平成 26 年度
介護用ベッド	16 台	15 台
車椅子	130 台	100 台
リクライニング車椅子	1 台	4 台
シャワーチェアー	8 脚	12 脚
浴槽内イス	1 脚	4 脚
浴槽手すり	4 台	2 台
歩行器	4 台	5 台
四点杖	11 本	1 本
ポータブルトイレ	14 台	6 台
その他	1 台	0 台

(3) 福祉車両の貸出

公共交通機関を利用することが困難な歩行障がい者(車いす生活者、高齢者)の病院、施設への送迎及び社会参加の為に特殊車輛(スロープ、リフト付)の貸出を行い、78 名が利用された。

運転者が不在の方は、ボランティアグループ「いちご会」の送迎を利用された。

平成 26 年度福祉車両貸出実績 (H25 実績 263 件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	19	26	18	26	27	26	23	35	30	33	33	41	337

(4) 視覚障がい者外出支援事業

菊川市内に居住する重度視覚障がい者が、菊川市身体障害者福祉会及び視覚障がい者部会の会議、旅行等の行事にて外出の際、障がい者から申請を受け派遣し、福祉の増進を図った。

総派遣人数 30 名 (平成 25 年度 34 名)

総派遣時間 94 時間 (平成 25 年度 158 時間)

重度視覚障がい者ガイドヘルパー登録者 21 名

(5) レクリエーション用具等貸出

市民が集う場がより楽しく交流できる場となるように、貸出用のレクリエーション用品 (41 種類) を整え、貸し出しを行った。

今後も市民からの要望を取り入れ、より多くの方々に楽しんで頂けるようなレクリエーション用品の貸出しを行う。

平成 26 年度貸出件数 109 件 (平成 25 年度実績 110 件)

VII 補助金及び助成金交付事業

(1) 補助金等交付事業

ア 菊川市遺族会

イ 菊川市手をつなぐ育成会

ウ 菊川市身体障害者福祉会

エ 菊川市母子寡婦福祉会

オ 菊川市老人クラブ連合会

(2) 地域福祉活動等支援助成事業

菊川市内の福祉的な課題に取り組んでいる当事者組織や、地域で福祉活動や市民活動を実施しているボランティア・市民活動団体、先駆的・開発的な事業を行うグループなどに対し、共同募金の配分金を財源に予算の範囲内において、地域における福祉活動を支援することを目的に助成金の交付を行った。また交付対象者を厳正かつ公正に審査するため、本会評議員 6 名とオブザーバー 1 名 (東海福祉専門学校講師 岡本一夫氏) による審査会を実施した。

平成 26 年度助成団体 35 団体 2,438,000 円

(3) ボランティアグループ等助成事業

ア 宅配給食ひまわりの会

イ 菊川市手話通訳者協議会

(4) 菊川市民生委員児童委員協議会事務局

民生委員児童委員と連携をし、地域福祉の推進を図った。菊川市民生委員児童委員協議会（菊川市、菊川東地区、菊川西地区、小笠地区）事務局として、総会及び定例会等の運営支援を行った。

VIII ボランティア活動の推進事業

(1) ボランティアセンター運営事業

ボランティア活動の一層の推進を図り、地域住民の地域福祉への参加を進めることは、お互いが支えあう地域社会を構築していくために欠かせないものである。ボランティアの養成・研修を行い、ボランティア活動者の育成を図るとともに、一般住民への啓発、ボランティアの登録、需給調整、ボランティア活動の円滑な推進のための情報収集と提供、ボランティアグループや市民からの活動に関する相談受付、ボランティア相互の連絡調整等を行うことによりボランティア活動推進に努めた。

① ボランティアの相談、登録、需給調整

<実績>

平成 25 年度	平成 26 年度
114 件	220 件

② ボランティア保険加入促進

安心してボランティア活動に取り組むための保険について、社協だよりやホームページでの広報や情報提供をした。

ア ボランティア活動保険（その他グループ、個人） 計 3,208 名

（保険金請求件数 1 件）

イ ボランティア活動保険天災タイプ 計 66 名

（保険金請求件数 0 件）

ウ 福祉サービス総合保険 4 件

エ 送迎サービス補償 3 件

オ ボランティア行事保険 12 団体 47 件

③ ボランティアグループの育成・支援

各グループの活動において、必要に応じて以下のような関わりを持った。

ア 外部からのニーズ（ボランティア参加や活動依頼等）とグループ間との調整を行った。

- イ ボランティアグループの行う事業に対し、外出運転ボランティア、演奏ボランティア等の調整を行った。
- ウ ボランティアグループにおけるボランティア募集の調整を行った。
- エ ボランティアグループの運営上の課題や問題に関する相談に応じた。
- オ ボランティアグループの研修先の連絡調整、研修の紹介を行った。
- カ ボランティアグループの活動について広報、ボランティアの調整を行った。
- キ 必要に応じてボランティアグループの会議に参加した。
- ク 活動資金、機材を必要とするグループに企業、財団等の助成金情報を提供した。
(2グループが申請した。)

④ ボランティア連絡協議会「ゆう&あい菊川」への支援
事業推進のための関係機関との連絡調整や情報提供を行った。

- ア 理事会 年7回開催
- イ 総会 平成26年4月11日(金) プラザけやき ボランティアセンター
- ウ 交流研修会 平成26年8月26日(火) 富士宮市ボランティア連絡会との交流
- エ 講演会&情報交換会(ボラ連とボランティアセンター共催事業)
平成26年9月15日(月) 講演「震災体験を語る」
講師 南三陸町出身 田畑祐梨氏
情報交換会「活動していてよかったこと、楽しかったこと」
- オ 交流会 平成27年2月15日(日)

⑤ NPO活動への支援
NPOの活動に関する相談を受け、必要に応じて地域支援課と連絡を取り合い情報提供を行った。

⑥ 児童生徒のボランティア活動
平成23年度開催の福祉教育推進会議を受け、菊川市教育委員会ボランティア活動支援センターと協働・協力し、3年目となる次の事業を行った。

- ア 事前事後学習の推進
事前事後学習マニュアルを作成し、児童生徒のボランティア受け入れ先に対し、事前事後学習の実施を依頼した。

- イ ボランティア担当者会(主催:菊川市教育委員会)への参加
 - 1回目 平成26年4月25日(金)
事前事後学習推進説明および依頼
 - 2回目 平成27年2月27日(金)
事前事後学習実施報告

講話「ボランティア受け入れの際のポイント」

講師 和松園 板倉幸夫氏



ウ 事後学習会「ボランティア学習会」の開催

日 時 平成 26 年 9 月 20 日（土）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

会 場 中央公民館

内 容 講義・実習

「読み聞かせボランティアとしての経験から感じたこと」

「やってみよう！読み聞かせ」

講師 すいようおはなし会 三浦康子氏

ボランティア活動（おがさセントラルパークの環境美化）

参加者 18 名

エ 児童生徒のボランティア活動の受入先および活動者調整

受け入れ先 10 団体 活動者数 35 名

⑦ その他

ア 市内福祉施設・地域高齢者サロンへのボランティア（主に趣味を活かしたボランティア）の調整を行った。

イ 市教育委員会ボランティア体験活動支援センターの小・中・高校生のボランティア募集に関して協力した。

ウ 「2014 年度子育て情報あつめ隊」による市内子育て公園マップづくりへの協力を行った。

エ 傾聴力講座受講修了者の登録による訪問傾聴ボランティア派遣事業を開始した。

オ 個人登録ボランティアにボランティア募集の情報提供をし、活動に結びつけた。

カ 古切手・ベルマーク等の外部団体への送付・寄贈を行った。

（2）ボランティア講座

ア 福祉有償運送運転者講習会

日 時 平成 26 年 5 月 28 日（水）午前 9 時 30 分～午後 4 時 00 分

平成 26 年 5 月 29 日（木）午前 8 時 45 分～午後 3 時 00 分

会 場 プラザけやき、松秀園、菊川総合自動車学校

内 容 福祉有償運送運転に関わる講義および演習

講 師 東遠学園職員、和松会職員、菊川総合自動車学校職員

菊川市社会福祉協議会職員

参加者 12 名（一般 3 名、施設職員 9 名）

イ 福祉施設等ボランティア担当者会議

日 時 平成 26 年 7 月 16 日（水）午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分

会 場 プラザけやき

内 容 情報・意見交換

(1) 事前調査票から

(2) 演奏等の施設訪問ボランティアについて

(3) ボランティア受入に関する書類について

参加者 14 名

ウ ボランティア講演会&情報交換会（ボラ連との共催事業）

日 時 平成 26 年 9 月 15 日（月）午後 1 時 30 分～午後 3 時 45 分

会 場 プラザけやき

内 容 講演「震災体験を語る」

講師 南三陸町出身 田畑祐梨氏

情報交換会「活動していてよかったこと、楽しかったこと」

参加者 106 名

エ 傾聴力養成講座

日 時 平成 26 年 8 月 11 日（月）午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分

会 場 プラザけやき

内 容 講義・演習「傾聴とは？利用者本位とは？」

講 師 静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科 准教授 川島貴美江氏

参加者 22 名

3 在宅福祉サービス事業

◎ 高齢者福祉事業

I 生きがい活動支援通所事業

○ いきいきサロン

菊川市内に居住する 65 歳以上の高齢者で、介護保険の要介護認定を受けていない者、介護保険の要介護認定において「自立」と判定された者で介護予防の必要な高齢者を対象とし、健康体操・レクリエーション・手工芸等の活動提供をすることにより、社会的孤立の解消や生きがいづくりと心身の健康増進を図った。

プラザけやき会場で火曜・水曜・木曜・金曜の週 4 日、東部ふれあいプラザ（潮海寺）会場で月曜・水曜・金曜の週 3 日開催をした。

《 いきいきサロンけやき 》

開催日時 毎週火曜・水曜・木曜・金曜 午前 10 時 00 分～午後 2 時 00 分
会 場 プラザけやき

	平成 25 年度	平成 26 年度
	プラザけやき	プラザけやき
利 用 者 数	63 人 男性（12） 女性（51）	60 人 男性（8） 女性（52）
延 利 用 者 数	1,909 人	2,040 人
年 間 開 催 日	199 日	200 日
1 日平均利用者数	9.6 人	10.2 人

《 いきいきサロン東部 》

開催日時 毎週月曜・水曜・金曜 午前 10 時 00 分～午後 2 時 00 分
会 場 東部ふれあいプラザ（潮海寺）

	平成 25 年度	平成 26 年度
	ふれあいプラザ	ふれあいプラザ
利 用 者 数	28 人 男性（1） 女性（27）	31 人 男性（2） 女性（29）
延 利 用 者 数	977 人	976 人
年 間 開 催 日	143 日	146 日
1 日平均利用者数	6.8 人	6.7 人

II 生活管理指導員派遣事業

社会適応が困難な高齢者に生活管理指導員を派遣し、日常生活に対する指導と支援を行い要介護状態への進行の予防を図った。

	平成 25 年度	平成 26 年度
開 催 場 所	プラザけやき	プラザけやき
派遣世帯数	13 世帯	14 世帯
延派遣回数	397 回	353 回
延派遣時間	397 時間	355 時間

III 高齢者配食サービス事業

高齢者のみの世帯で、調理が困難であり食事の提供が受けられない状況にある高齢者に対して食事を配達・回収し、食生活の改善と健康増進を図るとともに安否確認を行い在宅高齢者への見守り支援に努めた。

	平成 25 年度	平成 26 年度
	プラザけやき	プラザけやき
延 配 食 数	1,832 食	1,332 食

IV 外出支援サービス事業

	平成 25 年度	平成 26 年度
延 回 数	3,890 回	4,049 回
移 送 （ 病 院 ）	90 回	56 回
生きがい活動送迎	3,800 回	3,993 回

V 機能訓練事業

病気、怪我等によって心身の機能が低下している者に対し、日常生活の基本動作の維持のために、理学療法士の作成したプログラムに基づく機能訓練事業を行うとともに、訓練に関わる者同士の交流を図り社会参加の機会を確保することを目的とする事業である。

社協独自の事業として実施し、介護保険でフォローしにくい若い世代（40 歳以上 64 歳以下）に対応し、延 106 名の利用があった。利用者の中には自宅での運動を行うようになり幅広い活動への参加をするようになった者もいる。

○日 時 毎週月曜日 午前 9 時 00 分～午前 11 時 00 分

○対象者

	平成 25 年度	平成 26 年度
対象者数	2 人 男性 (2) 女性 (0)	3 人 男性 (3) 女性 (0)

4 菊川児童館

《平成 26 年度運営方針》

児童館は、18 歳未満のすべての子どもを対象とし、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身共に健やかに育成することを目的とする。この目的達成のため、気軽に来館できる雰囲気作りを職員一同心がけ、親子・大人・子ども同士の出会いと交流が自然にうまれる場となるよう努めた。

自由来館者対象“にこにこタイム”の内容の充実に努め、気軽に参加することを通して子育てを楽しんでもらいたい。また、季節の行事を親子で楽しむことを目的とする“特別企画”では、より多くの親子が参加して楽しんでもらえるよう、事業内容・募集案内等を工夫し、来館促進につなげた。

◎ 年間利用者数

32,095 人（前年度より 313 人増）

◎ 利用時間

午前 9 時 00 分～午後 4 時 30 分

◎ 休館日

日曜日・月曜日・祝祭日・年末年始

《実 践 報 告》

(1) どなたでも参加の事業

① にこにこタイム

【日時】火曜日～木曜日（長期休暇を除く）午前 11 時 15 分～午前 11 時 45 分

- ・ 月 1 回「にこにこ工作」
- ・ 月 1 回「にこにこ誕生会」

【内容】親子体操・手遊び・歌遊び・読み聞かせ等を通して親子や来館者同士のふれ合いを楽しんだ。子育て支援センターを含む職員 4 名の個性を生かした手遊びを取り入れ、親しみやすさをアピールした。「にこにこ工作」では季節に合った簡単な製作遊び「にこにこ誕生会」では誕生月の子ども・保護者を来館者みんなで祝う活動を取り入れた。

【年間参加者数】 2,283 組

* 申込みの必要がなく、その日の気分で自由に気軽に参加できることが好評である。参加制限のある申込制の事業と違い、市外の親子も参加することがで

きること、午前中の遊びの締めくくりとなること、異年齢の親子がそれぞれの成長に合わせた楽しみ方ができる。来館者同士のコミュニケーションの場にもなっている。

② 特別企画

【内容】季節の行事を親子で楽しみ、多くの人々と交流し楽しい思い出を作った。

月 日	活 動 内 容 (出演者等)	参加者
5 月 17 日 (土)	こどものつどい (小笠高校吹奏楽部による演奏会、職員親子によるパネルシアター、お楽しみ抽選会、きくのんからのプレゼント)	397 人
8 月 2 日 (土)	夏のおたのしみ会 (人形劇団“オフィスやまいも”による人形バラエティショー)	120 人
10 月 15 日 (水)	秋のおたのしみ会 (ポコアポコアンサンブルによるステージ、ハロウィンのプレゼント)	181 人
12 月 6 日 (土)	クリスマス会 (菊川吹奏楽団によるクリスマス演奏会・ベル演奏・パネルシアター・民生委員によるサンタクロース登場等)	192 人
2 月 3 日 (火)	ちびっこ節分 (みんなで踊ろう「オニのパンツ」・人形劇・豆作り・鬼退治等) 福祉課 2 名による鬼登場	280 人

*「夏のお楽しみ会」は、子ども対象の“市制 10 周年事業”と日程が重なったため、参加者は予定通りには伸びなかったが、他の 4 事業はいずれも昨年度の特別企画より参加者増となった。内容の工夫はもちろんのこと、入場整理券の配布で参加予定数が少ない場合は、各園に再度案内を出して参加を呼びかけた。

③ ウェルカム！児童館 ～ママのための情報交換会～

【対象】児童館利用が少ない方、ママ友を作りたい方、菊川市に転入してまだ日が浅く情報を知りたい方

【内容】児童館の利用案内・事業説明、タウン情報、子育て関係情報、自己紹介ゲーム、座談会等 (参加記念品とファイルをプレゼントした)

月 日	参 加 者
4 月 10 日 (木)	15 組
5 月 15 日 (木)	10 組
6 月 12 日 (木)	8 組
7 月 17 日 (木)	7 組
8 月 29 日 (金)	7 組
9 月 11 日 (木)	8 組
10 月 9 日 (木)	9 組
11 月 13 日 (木)	7 組
12 月 11 日 (木)	4 組

1 月 15 日 (木)	2 組
2 月 12 日 (木)	7 組
3 月 12 日 (木)	7 組

(2) 未就園児親子対象事業

① ふれあいタイム (毎月の申込制)

「作って遊ぼう (親子製作遊び)」

月 日	活 動 内 容	参加者
5 月 21 日 (水)	紙コップで車ちゃんを作ろう	20 組
9 月 24 日 (水)	もこもこ青虫を作ろう	2 ～ 3 歳児親子 20 組
12 月 18 日 (木)	うさちゃんポックリを作ろう	2 ～ 3 歳児親子 19 組
2 月 17 日 (火)	洗濯ばさみ遊び	1 歳児親子 13 組

「リズムで遊ぼう (親子リトミック遊び)」

月 日	活 動 内 容	参加者
4 月 17 日 (木)	ピアノやCDの音楽に合わせた親子での リズム遊び・模倣遊び (講師：リトミックランド)	0 歳児親子 22 組
4 月 24 日 (木)		2 ～ 3 歳児親子 21 組
5 月 22 日 (木)		0 歳児親子 28 組
5 月 29 日 (木)		2 ～ 3 歳児親子 18 組
6 月 19 日 (木)		0 歳児親子 24 組
7 月 10 日 (木)		2 ～ 3 歳児親子 19 組
9 月 25 日 (木)		0 歳児親子 26 組
10 月 23 日 (木)		2 ～ 3 歳児親子 18 組
11 月 27 日 (木)		0 歳児親子 14 組
1 月 22 日 (木)		2 ～ 3 歳児親子 9 組

「おはなし広場 (絵本読み聞かせ講座)」

月 日	活 動 内 容	参加者
9 月 9 日 (火)	絵本読み聞かせ講座	0 ～ 3 歳児親子 36 組
1 月 27 日 (火)	講師：水ようおはなし会	0 ～ 3 歳児親子 28 組

「わんぱく広場 (親子で運動遊び)」

月 日	活 動 内 容	参加者
4 月 18 日 (金)	親子体操、絵合わせゲーム、アニマルバス ごっこ等 (地震発生を想定した避難訓練)	2 ～ 3 歳児親子 23 組
4 月 23 日 (水)	親子体操、パネルシアター、タンバリン遊 び等 (地震発生を想定した避難訓練)	1 歳児親子 17 組
5 月 13 日 (火)	親子 3B 体操 (ボール・ベル・ベルター遊び) 講師：水谷小枝さん	1 歳児親子 22 組

6月24日(火)	タオルで遊ぼう（フェイスタオル・バスタオル） 紙吹雪遊び	1歳児親子 18組
6月26日(木)	フラフープ遊び、シールでこんにちは遊び、大型絵本、アンパンマン飛ばし	2～3歳児親子 15組
9月18日(木)	親子3B体操（ボール・ベル・ベルター遊び） 講師：水谷小枝さん	16組
10月17日(金)	親子3B体操（ボール・ベル・ベルター遊び） 講師：水谷小枝さん	16組
11月25日(火)	自己紹介遊び、手遊び、ハンカチ遊び、遊園地遊び、読み聞かせ	1歳児親子 24組
11月26日(水)	手遊び、リズム遊び（頭で握手、あの橋が落ちる前に）玉入れ、絵本	2～3歳児親子 14組
2月19日(木)	動物バス、バランス遊び、うちわ遊び、紙吹雪遊び	2～3歳児親子 10組
3月17日(火)	アンパンマンごっこ（お面とマントを作ってなりきりアンパンマン）	2～3歳児親子 23組

「親子体験」

月 日	活 動 内 容	参加者
6月10日(火)	親子で虫歯予防（講師：杉山寛子さん）	0～3歳児親子 31組
10月16日(木)	親子で救急法・救急車両と記念撮影 （講師：菊川消防署）	0～3歳児親子 29組
10月22日(水)	親子で交通安全・警察車両と記念撮影 （講師：菊川警察署、交通安全指導員）	0～3歳児親子 29組
1月21日(水)	親子で虫歯予防（講師：杉山寛子さん）	0～3歳児親子 16組

② 水遊び

簡易プールによる水遊び。5回実施し、91組親子が参加した。

(3) 小学生対象事業

① 土曜クラブ

月 日	内 容	参加者
4月19日(土)	工作（プラバンでキーホルダー）	8人
5月24日(土)	クッキング（プリンアラモード）	29人
6月14日(土)	工作（父の日のプレゼント・車用ティッシュホルダー）	23人
7月5日(土)	クッキング（サクサクで甘い絞り出しクッキー）	25人
9月6日(土)	工作（敬老の日のプレゼント・写真立て）	25人
10月25日(土)	クッキング（くまちゃんのミニパンケーキ）	21人

12月20日(土)	クッキング (クリスマスピザトースト)	23人
1月31日(土)	クッキング (はらぺこ青虫の食べたカップケーキ)	20人
2月7日(土)	クッキング (チョコレートのお城)	28人
3月14日(土)	クッキング (スノーボール)	28人

② 夏休み教室

月 日	内 容	参加者
8月1日(金)	親子クッキング 講師：栄養士 (関明子さん)	6組
8月5日(火)	工作 (牛乳パックで作る夏のちょこっと飾り)	13人
8月6日(水)	工作 (新聞紙で作る鉄砲)	9人
8月8日(金)	親子クッキング 講師：栄養士 (関明子さん)	7組
8月21日(木)	工作 (プラバンで作るコロコロサーキット)	6人
8月22日(金)	工作 (ゆらゆら水族館&アクアドーム)	31人

(4) 小中高生対象事業

① ボランティアクラブ「スマイル」 (登録制)

【対象】市内の小学生(4年生以上) 4名・中学生2名

【日時】土曜日 午後2時00分～午後3時00分

【内容】児童館活動補助を中心に子ども自身による活動を行い、ボランティア活動の楽しさを味わった。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月26日(土)	自己紹介・年間計画の確認	4人
5月17日(土)	特別企画「子どものつどい」補助	5人
7月19日(土)	「夏のお楽しみ会」ポスター作り	5人
8月2日(土)	「夏のお楽しみ会」補助	1人
11月22日(土)	クリスマス会準備、館内清掃(ガラス拭き)	3人
12月6日(土)	クリスマス会ベル演奏・入場整理等	6人
1月24日(土)	おもちゃの消毒、ポスター作り	2人
2月21日(土)	おもちゃの消毒・3月の打ち合わせ	3人
3月14日(土)	小学生土曜クラブの補助	3人

② 小中高生プレイルーム

【対象】市内外の小・中・高校生どなたでも

【日時】土曜日・長期休暇(春休み夏休み・冬休み)

午後1時00分～午後4時30分

第2土曜日(おもちゃ図書館開館日)はお休み

学校が半日授業で小・中学生の来館が多い午後は随時開催した。

【内容】土曜日・長期休暇の地域の小・中学生の健全な遊び、仲間とのかかわりの場となるように卓球台、ビリヤード、キッカーボード、各種ゲームやおもちゃをそろえ、交流できる居場所づくりに努めた。

【年間参加人数】1,962人（月平均 164人）

③ 高校生対象事業 「高校生と赤ちゃんとの交流事業」

【目的】高校生が赤ちゃんとのふれあいから自分の存在・家族のことを考え直し、自分の生命が両親から多くの愛情と慈しみを与えられていることを実感させたい。赤ちゃんの親にとっては、高校生に我が子の未来の姿を重ね合わせ、日々の子育てを振り返るきっかけになり、育児不安や虐待の予防につなげたい等、相互効果を期待し開催した。

月 日	内 容	参加者
11月1日（土）	事前学習（プラザけやき 201 会議室） 赤ちゃんの成長について・プレゼント工作等	高校生 23 人 （山下・増田）
11月15日（土）	交流事業（菊川児童館にて） 手遊び・歌遊びを通しての赤ちゃんとの交流	高校生 23 人 乳児親子 25 組

（5） 相談支援事業

【内容】職員は来館者とのコミュニケーションを大切にし、気軽に声をかけやすい雰囲気作りに心がけた。相談内容に応じ、専門機関に引き継いだ。

（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館	22	23	21	36	28	36	37	26	24	26	28	19	326
電話	0	5	1	3	0	3	1	0	0	0	1	0	14

（子育て支援センター事業相談件数と重複）

（6） ボランティア活動支援 菊川おもちゃ図書館「あそぼ」

【内容】心身に障がいを持つ子ども達が、おもちゃを通して遊ぶ楽しさを知り、多くの仲間と出会うことによって生き生きと成長していくことを促す場である。児童館は、ボランティアグループおもちゃ図書館「あそぼ」の活動支援を行い、開館準備・運営・片付け等の支援を行なった。

【日時】月 1 回 第 2 土曜日 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
午後 1 時 30 分～午後 4 時 00 分

【年間利用者数】

子ども（内 障がい児）	大人	ボランティア	計	貸し出しおもちゃ
186 人（101 人）	136 人	98 人	420 人	55 点

（7） 地域連携

- ① 中・高校生ボランティア受け入れ
菊川市ボランティア体験活動受け入れ（49 人）
おもちゃ図書館ボランティア受け入れ
- ② 職場体験学習受け入れ
菊川東中学校 （9 月） 3 人×3 日間
- ③ 実習生受け入れ

静岡県立大学短期大学部（１名） 静岡福祉大学（１名）

④ 施設見学受け入れ

菊川東中学校施設見学（24人） 小笠南小学校３年生（34人）
堀之内小学校３年生（56人）

⑤ 子育て情報パンフレットコーナー設置

⑥ 絵本の貸し出し

図書室の絵本を貸し出し、家庭での読み聞かせや児童館利用の推進につなげた。

⑦ リユースコーナー設置

不要になった育児用品を捨てずに必要な人に使ってもらうことを目的とする
「リユース掲示板」の設置

⑧ みんなの広場（職員・来館者による情報提供の場）

⑨ 職員会議（月１回）

小笠児童館・菊川児童館の月ごとの事業報告、確認事項の検討

⑩ 菊川市ボランティア担当者会議参加

⑪ 菊川市食育連絡会参加

⑫ 菊川市放課後子どもプラン運営委員会参加

⑬ 菊川市社会福祉協議会理事会・評議員会出席

⑭ 菊川市プレパパママサロン参加

⑮ ひきこもり・不登校サポート支援への場の提供（月２回、月曜日の午後）

⑯ 精神障がい者のボランティア活動の場としての支援（月１回 11:00～12:00）

⑰ 職員研修

月 日	内 容
５月９日（金）	静岡県おもちゃ図書館連絡会 第１回理事会
６月１３日（金）	西部地区児童館連絡会 総会・研修会（森町児童館）
９月２５日（木）	静岡県児童館連絡会 児童厚生員研修会（焼津市）
１１月４日（火）	西部地区児童館連絡会 実技交流会（森町児童館）
１１月１０日（月）	全国館長研修会（東京）
１１月２７日（木）	静岡県児童館連絡会 館長研修会（焼津市）
１月２４日（土）	西部地区児童館連絡会 全国児童館大会（東京）

（８）安全管理

① 安全点検・・・館内における安全対策として施設・固定遊具等の日常の安全点検と月一回の定期安全点検を実施、点検結果に応じ事後処置を講じるとともに、社会福祉協議会・福祉課に報告した。

② 安全指導・・・児童館でのルールや遊具の使い方等、事故防止のための指導を行った。入館者名簿は確実に記入していただき、帰宅する小学生・来館者親子には帰宅時刻を記入することをお願いし、来館者状況の把握を行った。

③ 安全対策・・・受付にて来館者チェック、初めての来館者への施設利用案内、

日常的な見回りと声かけを実施した。災害対応マニュアルを作成し、事業開催中での避難訓練を行った。非常時に備えて、救急用品の充実を図った。また、社協防災訓練に参加した。

平成 26 年度 菊川児童館 年間入館者数

(単位：人)

月 (日数)	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	合計	ボランティア	市外	組
4 月 (21 日)	266	867	260	46	0	922	2,361	19	180	877
5 月 (21 日)	307	901	162	60	46	1,142	2,618	56	99	1,029
6 月 (20 日)	387	989	143	25	0	1,207	2,751	74	122	1,079
7 月 (23 日)	355	1,338	254	54	0	1,449	3,450	53	235	1,293
8 月 (22 日)	272	1,240	495	145	0	1,223	3,375	16	319	1,140
9 月 (20 日)	337	940	199	27	0	1,148	2,651	47	111	1,021
10 月 (22 日)	350	1,081	89	19	0	1,258	2,797	67	140	1,140
11 月 (21 日)	343	968	110	17	52	1,116	2,606	31	190	1,018
12 月 (19 日)	222	911	182	29	0	994	2,338	30	150	894
1 月 (20 日)	234	797	101	11	0	866	2,009	44	149	810
2 月 (19 日)	261	929	131	10	0	1,022	2,353	20	138	952
3 月 (20 日)	290	1,006	322	55	6	1,107	2,786	25	153	1,009
合計 (248 日)	3,624	11,967	2,448	498	104	13,454	32,095	482	1,986	12,262
月平均	302	997	204	42	9	1,121	2,675	40	166	1,022
1 日平均	15	48	10	2	0	54	129	2	8	49

5 小笠児童館事業

平成 26 年度運営方針

児童館も新しい場所で 3 年経過した。一つの活動への参加をきっかけに来館してくれる乳幼児の親子の様子が見られたり、毎日のように来館し親子の居場所として活用してくれる親子もいた。学校が休みの時や時間のできたときに遊びに来る小学生、中学生の一つの居場所としても定着してきていることは嬉しいが、まだまだ市内地域の小学生や乳幼児親子でも来たことがない方、どんなことをしているところなのか知らない方もいる。遊べる所、触れ合える所として活動について知ってもらうために、チラシ配布・ポスターをいろいろなところに貼ってもらう、会に出かけて行くなどして P R を行うとともに、初めて来館する人やあまり来たことのない人の集まりを開催したり、来館者にも活動の紹介や参加の呼びかけをしてきた。

また定着してきた活動なども内容の検討をしながら設定をかえるなど工夫したり、子ども達の興味のあるものを取り入れたり、参加する年齢に無理のないように活動の内容を考え準備をするなどして魅力的な活動になるようやってきた。自由来館で来てくれる来館者には職員が気軽に声をかけながら接したり来館者同士の橋渡しをするなど、交流の場として気軽に再来館してもらえようように明るくし親しみやすい雰囲気を意識した。

◎ 年間利用者 27,479 人（昨年度より 836 人減）

◎ 利用時間 午前 9 時 00 分～午後 4 時 30 分

◎ 休館日 日曜日・月曜日・祝日・年末年始

活動実践報告

乳幼児親子対象の活動

① 親子ゆうゆう教室（2 クラス編成）

対象/市内の 1 才～就園前親子 水曜 35 組・木曜 29 組（年間登録制の教室）

日時/毎月第 3 水、木曜日（4 月・8 月は、なし）午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分

目的/親子でふれあいながら、大勢の友達と一緒に楽しく遊んだ。

月 日	活 動 内 容	参加者
5 月 21 日(水) 22 日(木)	こいのぼりで遊ぼう 手形を取ろう	53 組
6 月 18 日(水) 19 日(木)	お絵かき・しゃぼん玉 リズム「ドコノコのキノコ」	53 組
7 月 9 日(水) 10 日(木)	親子運動遊び 小麦粉粘土遊び	42 組
9 月 17 日(水) 18 日(木)	リズム遊び・風船あそび 工作「風船うさぎ」	55 組
10 月 16 日(木)	2 クラス合同 遠足 場所：菊川運動公園	45 組

11月13日(木)	2クラス合同 運動会 場所：小笠体育館	46組
12月10日(水) 11日(木)	クリスマス会 (みんなでゲーム・パネル・リズム 他)	47組
1月21日(水) 22日(木)	鬼あそび、豆まき会 シアター「桃太郎」 (鬼退治あそび、工作、リズム、豆まき)	39組
2月18日(水) 19日(木)	室内ウォークラリー、工作「スクスク手形」 エプロンシアター「はらぺこかいじゅう」	45組
3月11日(水) 12日(木)	人形劇を見よう 公演：水曜おはなし会さん 体操・仲間さがしゲーム	47組

② ぴよんぴよんクラブ

対象/市内の1才8ヵ月～就園前親子 21組 (年間登録制の教室)

日時/毎月1回木曜日(4月・8月は、なし) 午前10時00分～午前11時00分

目的/親子で体を動かすことの楽しさを味わった。

月 日	活 動 内 容	参加者
5月 1日(木)	しげちゃん先生とあそぼう 講師	12組
6月 5日(木)	タオルを使って遊ぼう	19組
7月 3日(木)	しげちゃん先生とあそぼう 講師	19組
9月 4日(木)	親子あそび	16組
10月 2日(木)	遠足 場所：八千代公園	12組
11月 6日(木)	ひでちゃん先生とあそぼう 講師	17組
12月 4日(木)	親子遊び(ボール・シートを使ってボール遊び他)	13組
1月 8日(木)	しげちゃん先生とあそぼう 講師	13組
2月 5日(木)	親子運動・ボール遊び・豆まき	14組
3月 5日(木)	しげちゃん先生とあそぼう・修了式 講師	17組

③ リトミックランド

対象/市内の1才8ヶ月～就園前親子(前期25組・後期27組 教室)

日時/毎月第4木曜日(4月・8月は、なし) 午前10時00分～午前11時00分

目的/親子でリズムに合わせて動くことの楽しさを味わった。

<前期>

月 日	活 動 内 容	参加者
5月29日(木)	リズムあそび 講師：水野先生、鈴木先生 他	24組
6月26日(木)	〃 〃	21組
7月17日(木)	〃 〃	20組
9月25日(木)	〃 〃	21組
10月30日(木)	〃 〃	17組

<後期>

11月27日(木)	リズムあそび 講師：水野先生、鈴木先生 他	22組
12月18日(木)	〃 〃	19組
1月29日(木)	〃 〃	20組
2月26日(木)	〃 〃	17組
3月19日(木)	〃 〃	21組

小学生対象の活動

① 小学生ボランティアサークル

対象/市内の小学生 16 人（年間登録制の教室）

日時/毎月 1 回土曜日 午前 9 時 30 分～午前 11 時 00 分（午後もあり）

目的/出来ることから始め、ボランティア活動の楽しさや心地良さを味わった。

月 日	活 動 内 容	参加者
5 月 17 日(土)	はじめの会 自己紹介と年間計画・ゴミ拾い	15 人
6 月 7 日(土)	草取り・夏祭りのポスター	12 人
7 月 5 日(土)	拭き掃除・遊具消毒・提灯作り	12 人
9 月 20 日(土)	施設訪問の話し合い、練習	16 人
9 月 27 日(土)	施設訪問(J A デイサービス) 読み聞かせ・昔の遊び・折り紙・合唱	16 人
11 月 15 日(土)	赤い羽根共同募金活動（スーパー 2 店）	14 人
12 月 27 日(土)	児童館の大掃除	17 人
1 月 10 日(土)	児童館の周りのゴミ拾い	6 人
2 月 7 日(土)	児童館の周りのゴミ拾い	12 人
3 月 7 日(土)	修了式・みんなで遊ぼう・クッキング	12 人

② 小学生体験活動

対象/市内小学生

目的/いろいろな体験をする中で交友関係や活動の幅を広め心豊かにすることを目的に行った。

月 日	活 動 内 容	参加者
4 月 1 日(火)～5 日(土)	小中高生デイ・カブラ	198 人
5 月 24 日(土)	茶道に挑戦	11 人
6 月 28 日(土)	空手に挑戦	16 人
9 月 6 日(土)	ウォーターバトル 《チャレンジGO!》	46 人
10 月 18 日(土)	ハロウィンパーティー	27 人
1 月 31 日(土)	科学あそび	39 人
2 月 7 日(土)	チャレラン、豆まき	45 人
3 月 14 日(土)	しげちゃんと遊ぼう(運動遊び)	32 人
5 月 10 日(土)	母の日のプレゼント作り(せっけんのデコパージュ)	15 人
5 月 17 日(土)	親子クッキング(きくのん寿司他) 講師:関栄養士さん	21 人
6 月 14 日(土)	父の日のプレゼント作り(オリジナルぶくろ)	16 人
7 月 24 日(木)～31 日(木)	小中高生デイ・カブラ	121 人
8 月 1 日(金)23 日(土)	小学生クッキング(夏休み)トロピカルソーダパフェ	31 人
3 月 25 日(水)	小学生クッキング(春休み)パンケーキプレート	16 人
8 月 7 日(木)	小学生手作り「万華鏡」「フレーム付切り絵」	25 人
8 月 23 日(土)～28 日(木)	小中高生デイ・カブラ	122 人
9 月 13 日(土)	敬老の日のプレゼント作り(ありがとうのフォトボード)	13 人
12 月 6 日(土)	小学生手作り(ひつじの花さし)	10 人
12 月 24 日(水)	小学生ブッシュドノエルケーキ作り 午前・午後	41 人
12 月 24 日(水)～26 日(金)	小中高生デイ・カブラ	40 人
3 月 24 日(火)～31 日(火)	小中高生デイ・カブラ	175 人

★小中高生デイは長期の休みに入れてきたことでだいぶ浸透してきた。小学生も違う遊びができる事を楽しみに来館し、ひと部屋の開放でのびのび遊べるのでこの日を目当

てに来てくれる子も見られた。同じ部屋に小学生が集まると他の遊びを覗いたり、入れてもらうなど子供のつながりもできる。自分たちで遊べるようになるよう職員が入ることも必要なので、この時は積極的にかかわることで盛り上げた。また、今年は中学生の参加も多く見られたがくる顔ぶれは同じ子が多かった。（中学生 218 人参加）3 月に新しい遊びを入れると次の日もまた遊びたいと来館する姿も見られた。遊びを変えたり新しいものを取り入れることは大切である。

（開催日・参加人数小中高の延べ 昨年 17 日間・691 人→ 今年 22 日間・847 人）

中高生対象の活動

① 中高生の体験活動

対象/市内の中高生

目的/ボランティア活動や講座を通して、いろいろな人とのかかわりをもち活動を楽しんだ。

月 日	活 動 内 容	参加者
4 月 1 日(火)～5 日(土)	小中高生デイ・カプラ	37 人
7 月 30 日(水) 11 月 1 日(土)	乳幼児の託児ボランティア	19 人
7 月 24 日(木)～31 日(木)	小中高生デイ	75 人
7 月 26 日(土)	夏まつりボランティア	42 人
8 月 15 日(金)	作って楽しもう 「コンパクトミラー&ミサンガ作り」	11 人
8 月 23 日(土)～28 日(木)	小中高生デイ	34 人
10 月 18 日(土)	ハロウィンパーティーボランティア	4 人
12 月 24 日(水)～26 日(金)	小中高生デイ	5 人
2 月 8 日(土)	スイーツ作り「ショコラ・ムース」 講師：堀 知佳さん	16 人
3 月 24 日(火)～31 日(火)	小中高生デイ	45 人

誰でも参加できる活動

① 自由来館

午前中は乳幼児親子、午後や土曜日・長期休暇時は幼稚園親子や小学生などが中心に自由に過ごす場の提供をして来たが、長期休暇時は小学生も午前から来ることも多く小さい子との触れ合いはよいが、一緒にいることで危険なときは注意しながら遊ぶように声をかけたり相談室を小学生に開放したりして遊びの場所を増やした。中学生の来館も多いときもあるので目をかけるように気を付けたが、子ども同士のもめ事や児童館の約束を守らないなどの行動をとる子もあるので、職員が声をかけながら解決に導く場面もあった。いろいろな年齢の子や学年の子、学校の子と一緒に遊べるように職員が目を配りながら遊びを楽しんだ。外での遊びも日常的に自分たちで遊ぶようになってきたが危険のないよう一緒に入って様子をみた。場を繰り返す中で小学生は自分たちでも遊びが進められるようになってきたがまだ職員との触れ合いを求めてくる子も多いので、媒介となり他の子とのつながりも作りながら遊ぶように場を作った。

② 移動児童館 ‘よっといで’

対象/どなたでも参加

日時/毎月1回土曜日（年間12回） 午前10時00分～午前11時00分

目的/屋外で思いっきり体を動かして遊んだり、いろいろな子ども達がふれあい、異年齢集団での遊びを楽しんだ。また地区センターにも行くことで色々な地区の人に児童館を知ってもらう機会にした。

月 日	内 容	会 場	参加者
4月12日(土)	自由あそび（ボール・フープ・長縄・他） かけっこ・読み聞かせ 他	セントラルパーク	62人
5月10日(土)	自由あそび（ボール・フープ・長縄・他） かけっこ・読み聞かせ 他	セントラルパーク	67人
6月14日(土)	自由あそび（ボール・フープ・長縄・他） かけっこ・読み聞かせ 他	セントラルパーク	11人
7月12日(土)	自由あそび・絵本の読み聞かせ・製作「かみ ひこうき」・エプロンシアター	南地区センター みなみやま会館	13人
8月 7日(木)	読み聞かせ・製作「スーパージャンプバッタ」 リズム「ドコノコノキノコ」	東地区センター くすりん	7人
9月 13日(土)	読み聞かせ・製作「スペースシャトル」 リズム・エプロンシアター 他	嶺田地区センター みねだ会館	15人
10月18日(土)	自由あそび（ボール・フープ・縄跳び・他） かけっこ・読み聞かせ 他	セントラルパーク	15人
11月 1日(土)	手遊び・絵本の読み聞かせ・リズム 製作「きゅっきゅっウサギ」	児童館(雨天のため)	25人
12月 6日(土)	読み聞かせ・リズム「ドコノコノキノコ」 工作「トナカイブーツ」・パネル 他	南地区センター みなみやま会館	11人
1月17日(土)	読み聞かせ・ 製作「きゅっきゅっひつじ」 おもちゃで遊ぶ 他	東地区センター くすりん	8人
2月14日(土)	読み聞かせ・リズム・手遊び 製作「フライングももんが」 他	嶺田地区センター みねだ会館	12人
3月14日(土)	自由遊び（ドッチボール・フープ・縄跳び） かけっこ・読み聞かせ 他	児童館中庭	33人

・その他、依頼を受け幼稚園や保育園（7/18、11/26、1/23）に出かけ、手遊び、リズム遊び、パネルシアター、大型紙芝居などを行った。

③ おはなしタイム

対象/どなたでも参加

日時/毎月1回 午後3時30分～午後3時45分

目的/午後のひととき、友だちと一緒に読み聞かせを気軽に楽しむことを目的に
また幼稚園児や小学生の参加できる活動のひとつとして行った。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月25日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「チューリップ」	15人
5月30日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「イチゴのペンダント」	16人
6月27日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「かさ」	15人
7月18日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「おさかな」	13人
8月28日(木)	絵本の読み聞かせ・折り紙「ペンギンの親子」	17人

9月26日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「うさぎ」	16人
10月31日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「リスさんボシセット」	16人
11月28日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「クリスマスツリー」	11人
12月19日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「かどまつ」	13人
1月30日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「パンダ」	18人
2月27日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「すわり雛」	14人
3月27日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「てんとうむし」	22人

★小学生への読み聞かせもやっていこうと取り組み、その一つとしておはなしタイムもあるが小学生の参加はなかなか増えない。(26年度参加者小学生20人)

来館している子を誘っても、小さい子がいることで敬遠する小学生もいるので小学生の活動時に読み聞かせの機会を入れて行こうと計画した。入れるのを忘れることもあったので27年度は計画の時に中に組み込み機会を増やしたい。

④ お母さんの簡単工作

対象/市内のお母さんどなたでも参加（お互い交代して子供を託児しあう）

日時/年3回 午前10時00分～11時00分

目的/短い時間だが子供から離れ工作を楽しむと同時にその子の託児を経験する。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月10日(木)	「石けんデコバージュ」	6人
11月21日(金)	「笑顔いっぱい写真ボード」	8人
2月13日(金)	「チョコレート入れの瓶工作」	12人

⑤ 絵本の貸し出し事業

・年間受付 延べ 157人

・毎週金、土曜日に一人5冊まで貸し出しを行ってきた。もっと多くの人に利用してほしいと思い、1月より開館している時はいつでも借りることができるとした。

・活動の中や絵本の講座などで“親子で絵本を楽しもう！”と話をする機会を持ったりその時期のお奨めの本などを、見えるところにおくように紹介したり、活動の中で読んだ本は見えるように置いて自分でもまた繰り返し読めるようにした。

・新しく本も購入し、新しい本とわかるように並べ読んでもらうようにした。

⑥ はじめまして！児童館

対象/引っ越してきた方・あまり利用したことがない方・児童館のこと知りたい方

日時/月1回 午後2時00分～午後3時00分

目的/児童館をあまり利用したことがない人や初めてでひとりで来館しにくい、また越してきたばかりで友だちもいないなどの方に児童館の事をいろいろお知らせしたり、みんなでおしゃべりすることで児童館に来館しやすくなるように開催した。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月8日(火)	児童館の活動、支援センターの説明・部屋の見学・おしゃべり	1組
5月13日(火)	〃	0組
6月10日(火)	〃	6組
7月1日(火)	〃	6組
8月5日(火)	〃	5組
9月2日(火)	〃	1組
10月7日(火)	〃	4組

11月 4日(火)	〃	1組
12月 2日(火)	〃	3組
1月 13日(火)	〃	2組
2月 3日(火)	〃	4組
3月 3日(火)	児童館の活動、支援センターの説明・部屋の見学・おしゃべり	2組

★26年度は引っ越してきた方・育休中に利用したい方・初めて利用した方・来館したことはあるが活動の事を聞きたい方など参加してくれました。説明の後おしゃべりをしながら、まず職員と知り合いになれるようにおしゃべりをした。そのあとも利用してくれるのを見て嬉しく思う。また来館した時にはなるべく声をかけるようにした。午後はゆったりとできるのではないかと設定したが、午前中に初めて来館する方も多く見られたので、27年度は午前中に設定して他の親子が遊んでいる様子を見てもらいながら来館者ともつなげて行けるように様子を見たい。

特別企画事業

目的/いろいろな体験活動をする中で多くの人々と交流し、心の触れ合いを感じたり、楽しい思い出を親子で作ったり、心豊かにすることを目的に行った。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月 12日(土)	新1年生いらっしゃ〜い!「児童館の使い方・ゲーム」	11人
7月 26日(土)	夏祭り(高校生によるダンス、郷土芸能お囃子・お店やフリーマーケット・お楽しみ抽選会・夜間映画等) —市制10周年・児童館開館25周年記念—	963人
8月 30日(土)	映画会 幼児向け「アンパンマン」	87人
3月 28日(土)	小学生向け「日本の昔話・学校の怪談」	47人
11月 8日(土)	月と星を見る会 講師:小沢和夫さん	雨で中止
11月 29日(土)	人形観劇会 劇団バンビ「こぶとり爺さん・一大事でござる」	142人
12月 13日(土)	クリスマス会 手遊び・手品・みんなでゲーム・「カラフルパンチショー」	133人
1月 10日(土)	お正月遊び&餅つき	84人

支援事業

地域の子どもたちが健やかに育つことを願いボランティア活動や仲間作りをしているグループの育成支援。

① みらい子育てネットの育成・支援

・「小笠南地区 のいちご会」

小笠南小学校区を拠点に活動を進めている。小学校持久走のお汁粉づくり、地区全体の豆まき、クリスマス会、苺狩り、七五三祝い、秋の交通安全運動等会員相互の活動、地区全体の活動など幅広く活動した。

また市の委託を受け5月に「親子のつどい」を開催した。

② 人形劇クラブ「やぞうこぞう」の育成・支援

現在活動を休止

地域連携事業

“子育ては地域ぐるみで”を念頭にいろいろな機関、人たちとの連携を深めてきた。

- ・中高生ボランティア受け入れ（夏祭り・チャレンジG0・コロコロタイム他）
- ・要保護児童地域対策協議会の要保護児童部会、乳幼児部会に参加
- ・ボランティア担当者会議参加
- ・食育連絡会参加
- ・子育て相談事業他の機関とのつなぎ
- ・更生保護女性会の人たちによる、コロコロタイム等の託児
- ・民生委員児童委員さんによるボランティア（夏祭り・運動会・教室クリスマス会）
- ・みらい子育てネット母親クラブ
親子のつどい 5月24日（土）
児童館夏祭り協力
- ・児童館だよりを各小学校・幼稚園・保育園・自治会回覧・各施設の情報コーナーへ配布した。また、活動のチラシ・ポスターなどを配布した。
- ・移動児童館で地区センターを回る時はその地区にチラシを回覧してもらった。
- ・職員研修会参加
県・西部地区児童館連絡協議会研修会参加

安全管理

（1）安全点検

- ・施設、固定遊具、玩具などの日常点検と、月1回の安全点検を行った。
点検結果により随時適切に事後処理を行った。
- ・毎日の掃除の中で危険箇所やこわれた玩具などがいないか見ていくようにした。

（2）安全指導

- ・狭い館内であり、すべりやすいこともあり、安全に遊ぶように呼びかけたりしている。また、卓球・ビリヤード台・サッカーゲームを出した時は、職員が必ず一緒に用意して小さい子が危なくないように境に安全バーを置くように指導した。
- ・児童館でのルールや遊具の使い方など事故防止のため指導を繰り返し伝え、子どもたちに安全に対する意識を身につけていくようにした。
- ・非常口通路の確保ができる様に来館者を含め、靴はしまう等声をかけた。
- ・防災訓練を何度か突然実施する中で来館者に非常口と避難場所の確認をしてもらう機会を持った。
- ・流行性の疾病が発生した時は、たよりで感染しない様にうがいや手洗いなどを呼びかけたり、病気の時は児童館への来館を控えるようになど館内にポスターを掲示し注意を促した。

（3）安全対策

- ・挨拶を交わしあうことで不審者対策をした。受付にて来館者チェックをし日常の見回りと声掛けを実施した。また、職員の近くに催涙スプレーを用意した。
- ・非常時に備え、来館状況の把握が確実にできるように来館者全員に帰る時間を書いてもらうようにし、災害時に児童館にいる人の把握ができるようにした。また、災害時の児童館の対応について、たよりで知らせたり館内に掲示して知ってもらうよう努めた。
- ・地域で流行性の疾病が発生した時は消毒液を受付に用意したり、たよりや館内の掲示でかかった子は完全に治るまで来館を控える様にお願いをした。

- ・地震に備え、卓球台・ビリヤード台・サッカー台・ジャンピングなどは使わない時は安全ベルトで固定した。

平成26年度 小笠児童館月別入館者数

(単位：人)

月(日数)	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	合計	ボランティア	(市外)
4月(21)	230	703	535	88	4	778	2,338	(23)	(203)
5月(21)	218	628	237	160	2	732	1,977	(5)	(183)
6月(20)	234	680	244	83	3	794	2,038	(23)	(220)
7月(23)	329	1,140	616	231	62	1,233	3,611	(124)	(238)
8月(22)	247	911	790	302	4	868	3,122	(3)	(430)
9月(20)	234	780	264	49	2	824	2,153	(6)	(184)
10月(22)	322	915	237	69	11	997	2,551	(21)	(260)
11月(21)	222	856	311	56	4	817	2,266	(8)	(230)
12月(19)	171	563	314	31	19	611	1,709	(10)	(189)
1月(20)	132	764	158	20	27	588	1,689	(27)	(163)
2月(19)	156	581	176	47	5	573	1,538	(6)	(145)
3月(20)	169	910	521	84	0	803	2,487	(16)	(211)
合計(248)	2,664	9,431	4,403	1,220	143	9,618	27,479	(272)	(2,656)
月平均	222	786	367	102	12	802	2,290	23	221
1日平均	11	38	18	5	1	39	111	1	11

6 きくがわ子育て支援センター「たんぽぽ」事業

子育て家庭（これから子育てを始める家庭を含む）に対する育児支援を行い、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。

安心して子育てができるように子育て親子間の交流を深める活動、子育てに関する相談や援助等を実施した。

（１）子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

① 自由来館

親子で遊んだりママ友達と情報交換をしたりして、自由にゆったりと過ごす場を提供した。幼稚園・保育園児（３歳以上）には、小学生用貸し出しおもちゃを提供し、遊びの幅を広げるようにした結果、来館が増えた。

② ０歳児親子教室「はじめの一步」

【対象】 ０歳児親子（コンサートは兄弟参加可能）

【内容】 はじめての子育てを、子どもとのふれあいや友達になった親子との交流を通して楽しむとともに、友達づくりや親の情報交換の場となるよう行った。

開催日	内容	参加人数
５月７日(水)	親子ヨガ(講師：越水律子さん)	17組(35人)
６月４日(水)	ミニコンサート(講師：こすもすさん)	19組(46人)
７月２日(水)	親子ヨガ(講師：越水律子さん)	20組(41人)
９月１０日(水)	ミニコンサート(講師：こすもすさん)	35組(78人)
１０月１日(水)	親子ヨガ(講師：越水律子さん)	31組(63人)
１１月５日(水)	ミニコンサート(講師：こすもすさん)	31組(63人)
１２月３日(水)	親子ヨガ(講師：越水律子さん)	19組(39人)
１月１４日(水)	ミニコンサート(講師：こすもすさん)	25組(57人)
２月４日(水)	親子ヨガ(講師：越水律子さん)	22組(45人)
３月４日(水)	ミニコンサート、軍手人形作り(講師：こすもすさん)	17組(36人)

③ 多胎児親子教室「ふたごちゃん、こんにちは!!」

【対象】 多胎児親子、妊婦さん

【内容】 多胎児をもつお母さんや家族、多胎児妊婦が交流・情報交換をする中で、悩みや不安を少しでも減らし感動や喜びを増やす場となるよう支援した。

【協力】 更生保護女性会（毎回５人位）

開催日	内容	参加人数
６月２５日(水)	はじめまして、こんにちは!! (水ようおはなし会)	９組(38人)
７月３０日(水)	同窓会(コンサート、写真撮影、ペンギンうちわの工作) 水ようおはなし会	７組(36人)

10月29日(水)	ふれあい遊び(わらべ歌、手遊び) パネルシアター、風船遊び等	12組(41人)
12月17日(水)	クリスマスコンサート、サンタさん登場(「子育てレッスン」と同時開催)	7組(24人)
2月25日(水)	お楽しみ工作、子育てトーク	8組(31人)

④ 親子で遊ぼう「わくわくパーク」

【対象】1歳6か月児以上(内容により“歩ける子”の場合あり)

【内容】親子共に身体を動かし、運動の基礎を学びながらふれあい遊びを楽しんだ。
また、遊びを通して、子育てには父親参加の大切さを学んだ。

開催日	内 容	参加人数
4月22日(火)	大ちゃん先生と遊ぼう(講師：大場義貴さん)	24組(53人)
6月28日(土)	パパと大ちゃん先生と遊ぼう(講師：大場義貴さん)	24組(83人)
7月15日(火)	みんなで水遊び	16組(37人)
9月27日(土)	パパと大ちゃん先生と遊ぼう(講師：大場義貴さん)	17組(74人)
10月28日(火)	大ちゃん先生と遊ぼう(講師：大場義貴さん)	17組(74人)
11月29日(土)	パパと大ちゃん先生と遊ぼう(講師：大場義貴さん)	17組(48人)
2月24日(火)	じゅんちゃん先生と遊ぼう	28組(58人)

*パパを含む親子遊びをコンセプトに行っているが、兄弟関係もあって仕方のないことだとは思いますが、1対1の向き合いがなかなかできないことが多いと感じる。また、開催時期の設定が難しく、参加人数の減少が気になる。安全に遊ぶための幼児期の基礎遊びを学習する良い機会だとは思っているので、積極的に参加してほしい。参加することにより、他の子育て家庭の様子に接することによって、刺激は与えられているように感じる。

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施

① 子育て相談業務

子育て全般に対する相談窓口として、電話、来館にて相談に応じた。また来館者に積極的に声掛けをし、話しやすい雰囲気をつくるよう配慮した。

<相談件数>

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館	22	23	21	36	28	36	37	26	24	26	28	19	326
電話	0	5	1	3	0	3	1	0	0	0	1	0	14

(児童館相談件数と重複)

<相談内容>

・ 発育不安

(1歳児の口臭がひどい。2歳になる息子は言葉を発しないので不安。2歳児、突然どもりだし心配。)

- ・ 育児不安

(小さい子はどこに遊びに行けばいいのか。トイレトレーニングにおまるの準備は必要か。母乳しか飲まないが、水分補給・卒乳はどうしたらいいか。気に入らないことがあると、とことん泣く子どもの対処法は？特定の食品しか食べない子どもの対処法は？子ども同士がおもちゃの取り合いをしているとき、親としてどのように対処するべきか。1歳男児、食欲旺盛で食べ始めると止まらなくなる。どこで止めるべきか迷う。)

- ・ 家庭での心配事

(一軒家を持ちたいが、固定資産税等何にお金が必要になりますか。子どもの入園を旦那さんが賛成していない。夏休み中にあずかっている孫(4歳)が頭痛を訴える。検査をしたが異常はない。)

- ・ 園での心配事

(園でアレルギー除去食品の給食となり、元気がない。来年小学校に入学するが、幼稚園で一人遊びが多いので仲間作りができるかが心配。)

- ・ その他

(転勤で菊川に引っ越してきて1か月、何もないことに驚き、車がないと生活できない。二人の子どもを連れて奥さんが沖縄の実家へ帰り、離婚を要求されている。子どもと一緒にいけるお座敷のある食事処を教えてください。アレルギーのある子どもを母国である中国においてきた。中国では落ち着いて安定している。入学した息子は学校が嫌いで泣いてひっくり返る。妊娠中で化粧品が合わなくなった。授乳後(母乳)頭がくらくらし、脱力感で動けなくなる。夫婦ともに県外出身、静岡県の子の誕生祝の風習を教えてください。)

② 子育て事業「おしゃべりひろば」

【対象】 0～3歳児親子

【内容】 小さなことでも相談、おしゃべりすることで気持ちの負担の軽減につながるよう配慮した。

【協力】 家庭相談員

開催日	内 容	参加人数
5月27日(火)	トークテーマ「初夏に向けての悩み事」 手遊び、自己紹介リレー	6組(14人)
7月8日(火)	トークテーマ「夏の病気あれこれ」 自己紹介トーク、手遊び	5組(12人)
9月16日(火)	トークテーマ「夏の疲れを吐き出そう！この夏の初体験」 協力：家庭相談員	9組(21人)
11月11日(火)	トークテーマ「食欲の秋を迎えて」 自己紹介しながらテーマを話し、悩みも話す	8組(17人)
1月20日(火)	トークテーマ「新年の抱負」 手遊び、自己紹介リレー、お悩み相談	5組(10人)
3月10日(火)	トークテーマ「ありがとう」、自己紹介リレー、顔のわかるお付き合いについて	4組(9人)

＊漠然とテーマを決めての座談会で相談を聞き出している会である。かしこまらず、気軽に参加して何気なく悩み事が解決できることを目的とする。ちょっとした世間話から悩みを引き出し、共感し合うことにより安心感を持って子育てをしてもらいたい。

けやき1階のボランティア室を会場とし、こじんまりと親密性高く顔を突き合わせる事ができ、友達の輪も広がっているようだ。

- ③ 子どもを守るネットワーク(菊川市要保護児童対策地域協議会)
年間6回 会合に参加し、支援の内容を協議した。
- ④ 静岡県議会人口減少対策委員会
参考人として報告
- ⑤ 赤ちゃんが育てるパパママ力向上講座
県委託事業として研修会に参加し、菊川にて講師として講座開催
- ⑥ プレパパママサロン参加
- ⑦ のんのん教室参加
- ⑧ ボランティア担当者会議参加
- ⑨ 食育連絡会参加

(3) 地域の子育て関連情報の提供

託児や子育て支援に関する情報(民間を含む)を集め、自由に持ち帰ってもらった。

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

① 子育てレッスン

【対象】0歳～3歳の子を持つ保護者

【内容】親の子育て力を高める活動、親のリフレッシュ活動、子どもとのふれあいを
楽しむ活動を通して子育ての楽しさを実感してもらった。

【託児協力】更生保護女性の会、民生委員児童委員協議会児童福祉部

【託児依頼】子育てサポートりぼん

月 日	内 容	参加人数
4月16日(水)	初めましての会、プラザけやき館内見学、いきいきサロン訪問等	21組(45人)
5月14日(水)	みんなで骨盤体操 講師：古池匡紀さん	15組(70人) 託児(17人)
6月11日(水)	ママの目線で考えた家族防災講座 講師：NPO法人静岡県災害支援隊	24組(69人) 託児(19人)
7月9日(水)	食育講座「ゆるキャラ太巻きを作ろう」 講師：栄養士 関明子さん	23組(66人) 託児(22人)
8月20日(水)	みんなで読みきかせ(手遊び、絵本、紙芝居) 講師：小笠図書館職員	22組(48人)

9月17日(水)	みんなで骨盤体操 講師：古池匡紀さん	17組(54人) 託児(18人)
10月8日(水)	食育講座「野菜とおやつのドッキング」 講師：栄養士 関明子さん	19組(58人) 託児(16人)
11月19日(水)	ママの目線で考えた家族防災講座 講師：NPO法人静岡県災害支援隊	19組(58人) 託児(20人)
12月17日(水)	クリスマスコンサート、サンタさん登場 「ふたごちゃん、こんにちは!!」と同時開催	15組(40人)
1月28日(水)	みんなで骨盤体操 講師：古池匡紀さん	13組(48人) 託児(15人)
2月18日(水)	静岡県委託事業「子育ては尊い仕事」 講師：(株)和光堂「1歳からの幼児食」	20組(43人)
3月11日(水)	絵本の読み聞かせ講座 講師：水ようおはなし会	24組(53人)

(5) 地域支援活動の実施

① 移動子育て支援センター「すくすくひろば」

【対象】 子育て中の親子、妊婦さん

【内容】 地域へ出向き、手遊び、おもちゃ遊び、歌、絵本、ボール遊び、制作、ふれあいトーク等を通して子育て支援援助を行った。身近な人たちとのふれあいの中で地域の人たちとの絆を深め、地域を知る良い機会となった。

地区センター名	回数	参加組数	延べ人数
西方地区センター	5	34組	81人
河城地区センター	5	50組	105人
青葉台コミュニティセンター	5	37組	82人
横地地区センター	5	37組	84人
内田地区センター	5	53組	125人
加茂地区センター	5	68組	155人
牧之原農村婦人の家	5	44組	101人
合 計	35	323組	733人

*昨年度より、71組(127人)減少している。地域での子育てにはなかなか浸透することができていないのが現状だと反省する。地域がらもあると思うが、近隣の家族がわからない人が多いと思う。参加者の減少が気になる事業の一つである。テーマがニーズに合っていないのか、集うことを必要とされていないのか検討したい。

(6) 職員研修

月 日	内 容
7月1日(火)	児童虐待防止研修会 「虐待かもしれない・・・あなたならどう対応しますか？」
7月12日(土)	療育講演会「子どもとの絆を結ぶかけはし」
8月28日(木)	子育て支援センター 全国セミナー2014in 熊本
8月29日(金)	「ともに創ろう！新しい時代の子育て支援センター」
2月1日(日)	パパママ力公開講座（三島）
3月7日(土)	パパママ力公開講座（菊川）
3月8日(日)	パパママ力公開講座（磐田）

7 おがさ子育て支援センター「ひまわり」事業

子育てしているお母さんや他の家族の居場所・友だち作りの場・相談の場として活用してもらい、少しでも安心して子育てが出来るように、また子供たちの健やかな成長の手助けができるようにと、子育て親子の交流の場の提供と促進や講習会を開催したり、子育てに関する相談に応じることで、子育て支援をしてきた。

(1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

① 自由来館

親子で遊んだり友だちと一緒に遊んだり、ゆったりと自由に過ごす場の提供をした。一人で来ている来館者には様子を見ながら声掛けをしたり、他の来館者との仲を取り持つなど交流する場を作ったりした。職員が来館親子に話しかけをしたり子どもとの触れ合いをきっかけにお母さん達との距離を縮め気軽に声をかけてもらえるような雰囲気を作るよう意識した。

② コロコロタイム（A組 21組、B組 16組 2クラス編成）

対象/市内の3ヵ月～1才未満の親子（年間登録制の教室）

日時/毎月1回水曜日（4月・8月は、なし）午前10時00分～午前11時00分

目的/親子でふれあいを楽しんだり、子育てを楽しめるよう色々なことに挑戦した。

また、お母さん同士の交流や、育児についての話をしてもだち作りをした。

月 日	活 動 内 容	参加者
5月 14日(水)28日(水)	A B ふれあい遊び・自己紹介・歌	35組
6月 4日(水)17日(火)	A B 親子ヨガ 講師：越水律子先生	34組
7月 2日(水)16日(水)	A B 簡単おもちゃ作り・フリートーク	30組
9月 5日(金)19日(金)	A B 乳幼児の心肺蘇生法 講師：消防署職員 託児	29組
10月 23日(木)29日(水)	A B 食育のお話 講師：関栄養士さん 託児	28組
11月 12日(水)19日(水)	A B わらべ歌&ふれあい遊び	22組
12月 17日(水)	A B 折り紙・ケーキ作りとクリスマス会	28組
1月 14日(水)	A B 8020 双葉事業～歯の大切さ～	20組
2月 28日(土)	A B 親子でリトミック 講師：リトミックの先生	25組
3月 5日(木)	A B ふれあい遊び・ビンゴゲーム・他	27組

*託児：更生保護女性会のみなさん

③ いないないばあ

対象/生後3カ月から1歳までの親子どなたでも参加できる（どちらか1日）

日時/4月より毎月2回 午前10時00分～午前11時00分

目的/赤ちゃんとのふれあいの仕方を知ったり、お母さん同士おしゃべりをするなかで、子どもの育ちをみつめたり、不安やストレスを和らげたりした。またお母さんの友だち作りの場とした。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月 11日(金) 18日(金)	ベビーマッサージ 歌 ふれあい遊び おしゃべり会	28組
5月 9日(金) 23日(金)	ベビーマッサージ 歌 ふれあい遊び おしゃべり会	39組
6月 13日(金) 20日(金)	〃	39組
7月 4日(金) 11日(金)	〃	22組
8月 8日(金) 29日(金)	〃	30組
9月 12日(金) 26日(金)	〃	38組
10月 10日(金) 24日(金)	ベビーマッサージ 歌 ふれあい遊び おしゃべり会	36組
11月 7日(金) 28日(金)	親子ヨガ 講師：越水律子先生 ベビーマッサージ 歌 ふれあい遊び おしゃべり会	40組
12月 5日(金) 12日(金)	ベビーマッサージ 歌 大型絵本 サンタ登場	23組
1月 16日(金) 30日(金)	ベビーマッサージ 歌 ふれあい遊び おしゃべり会	19組
2月 6日(金) 20日(金)	〃	25組
3月 6日(金) 20日(金)	ベビーマッサージ 歌 ふれあい遊び おしゃべり会 こすもすさんのミニコンサート	29組

★2回の開催も浸透してきた。参加人数も15組前後で安定している。多すぎずちょうど良い組数ではある。時には少ない事もあるがそのような時は職員も入りおしゃべり会ではいつもより一人一人が近いものになるので少ないときはそれをうまく使いたい。1才過ぎると会に参加できないことを残念がるお母さんが見られる。同じくらいの子を持つお母さん同士のおしゃべりする場がやはりほしいようであるので、「読み聞かせ&ホットタイム」の方に誘って引き続きおしゃべりする場を提供していきたい。

② ちびっこおたのしみ館

対象/どなたでも参加できる

日時/毎月第2、第4火曜日 午前10時00分～午前11時00分

目的/親子でのいろいろな遊びを通して、母と子の心のふれあいを豊かにしたり人とかかわる楽しさを感じたりすることを目的に行った。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月 8日(火)	手あそび 絵本の読み聞かせ 工作「パフッとカエル」 カードシアター「風船」他	20組

22 日 (火)【青空】	遊具あそび・ボール・シャボン玉 他 場所: 蓮池公演	4 組
5 月 13 日 (火) 27 日 (火)	絵本の読み聞かせ 工作「こいのぼり・チョウチョ」 エプロンシアター「プーさんのかくれんぼ」他	34 組
6 月 10 日 (火) 24 日 (火)	手あそび 絵本の読み聞かせ 工作「てるてるぼうず」 シアター「だれのかさ・夏のリース」絵本の読み聞かせ	38 組
7 月 1 日 (火) 15 日 (火)	工作「七夕飾り・たこさんうちわ」 絵本の読み聞かせ シアター「天の川キラリンコ」	36 組
8 月 5 日 (火) 19 日 (火)	工作「金魚のふうりん・マラカス」絵本の読み聞かせ シアター「おむすびころりん」他	43 組
9 月 2 日 (火) 16 日 (火)	手あそび 絵本の読み聞かせ 工作「すいすいトンボ」 シアター「はらぺこあおむし」リズム「ドコノコノキノコ」	53 組
10 月 7 日 (火) 21 日 (火)	工作「ミノムシ」リズム「ドコノコのキノコ」 シアター「おいしい秋」絵本の読み聞かせ 他	59 組
11 月 4 日 (火) 18 日 (火)	絵本の読み聞かせ 工作「がまぐちボシエット」他 水ようおはなし会による人形劇 他	54 組
12 月 2 日 (火) 16 日 (火)	工作「クリスマスツリー」シアター「私のクリスマスケーキ」 リズム「白ひげのサンタさん」絵本の読み聞かせ	44 組
1 月 6 日 (火) 20 日 (火)	工作「こま・カスタネット」リズム「ドコノコノキノコ」 絵本の読み聞かせ パネルシアター「だれの傘？」	30 組
2 月 3 日 (火) 17 日 (火)	工作「鬼のマス・ひっくりかえる」リズム シアター「ネコのお医者さん」他 リボンタイム	31 組
3 月 3 日 (火) 17 日 (火)	お楽しみ「グリーンマントのピーマンマン・他」 工作「天使のつるし飾り」絵本の読み聞かせ	43 組

・3回(4月・5月・10月)は蓮池公園に青空ちびっことしてでかける予定だったが雨のため
4月1回となった。

・ボランティアでりぼんさんが読み聞かせに来てくれる日もあった。

③ みんなみんなよっといでふれあい運動会

対象/市内の親子家族どなたでも

場所/小笠体育館

目的/いろいろな年齢の子が交流しながら体を思いきり使い家の人たちと一緒に
動くことを楽しんだ。

月 日	活 動 内 容	参加者
10 月 4 日 (土)	かけっこ・借り物競走・玉入れ・パン食い競争 じゃんけん汽車・リズム・他	111 人

(2) 子育てに関する相談、援助の実施

① 読み聞かせ&ホットタイム

対象/どなたでも参加できる

日時/年 5 回 午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分

場所/平川地区防災コミュニティセンター

目的/親子で読み聞かせを楽しみ、ゆったりとした時間の中でお母さん同士でおしゃ
べりをしたり悩みを話すなどしながら、ともだち作りの場とした。

月 日	活 動 内 容	参加者
4 月 24 日 (木)	読み聞かせ・ゲーム・おしゃべり会 他	11 組
6 月 12 日 (木)	〃	8 組

8月21日(木)	〃	13組
10月31日(金)	〃	10組
12月19日(金)	〃	8組
2月27日(金)	大塚製薬とのコラボ事業「大豆のはなし」他	18組

★今年度は開催をわかりやすくしようと1回増やしひと月おきに開催した。まだまだ会場も違うことや場所を知らないなどから周知してないと思われる。参加してくれる方はゆったりの雰囲気や職員との関わりを楽しんでいる様子が見られた。2月の企業とのコラボで初めて参加してこんな活動もあったのかと知ってくれる方もいた。会場も広さの関係で15組ぐらいがゆったりできると思うが、良さを知ってもらい、ゆっくり話をしたい方や大勢の中より少人数の方がよさそうな方などを誘っていききたい。また27年度は内容の中に誕生日をお祝いする活動なども入れ、変化をつけたり市の相談員が来てくれることなどもPRしていききたい。

(26年度 5回54組→ 27年度 6回68組)

② 子育て相談事業

・年間受付 来館相談 116件 電話相談 1件

・自由来館時 随時行ってきた。

話しやすい環境につとめ、子どもの育ちをみつめながら気軽に話をした。

また、「いないいないばあ」や「コロコロタイム」「読み聞かせ&ホットタイム」などの教室や集いの場でフリートークの場を持ち、おしゃべりの場に職員が入ったり、市の相談員さんに入ってもらいながら一緒に考え共感したりアドバイスも行った。

継続した見守りも大切であるので、その後の声かけなども行うようにした。

また職員で受けた相談について話を出し合い共通理解をもった。

・相談内容について

子どもの発達について・毎日の中の生活習慣について・食生活について

子どもの健康について・子どもの性格について・母親の悩み事について(祖父母とのこと・夫のこと・自分の子育てについて・他)・祖母より母親についてなど

(3) 地域の子育て関連情報の提供

・子育て情報の提供

支援センターの情報・県、市からのお知らせや子育てに関する情報・講習会についてのチラシ・託児について・サークルの情報など自由に取れるように玄関付近に設置した。また幼稚園の自由来園の日の情報や、幼稚園・保育園の入園のお知らせなどを掲示板に張り出しチラシも置いた。

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習会などの実施

① お母さんのリフレッシュタイム

対象/市内の子育て中のお母さんどなたでも

日時/年3回

場所/子育て支援センター・地区センター

目的/子育て中のお母さんが子どもと少しだけ離れ自分の時間を持ちリフレッシュする時間を楽しんだ。

月 日	活 動 内 容	参加者
4月15日(火)	ヨガ 講師：越水律子さん	18人
7月31日(水)	リラックスアロマ 講師：高野智子さん	13人
11月1日(土)	おいしいコーヒーの淹れ方 講師：荒川佳也さん	6人

託児…中高生・更生保護女性会のみなさんがボランティアで託児をしてくれた。

② 絵本の読み聞かせ・子どもの歯の講座

目的/親子で絵本を楽しむ中で本の選び方、読み方などのヒントを得ることや子どもの歯の大切さを知る事を目的に行った。

講師/水ようおはなし会のみなさん

月 日	活 動 内 容	参加者
4月16日(水)	親子で絵本をみたり人形劇をみたりする中で絵本の意図や読むときの注意、選び方、楽しみ方などについての話を聞く	14組
10月1日(水)	子どもの歯の大切さを知り、実際に子供の歯磨きの指導を受ける	13組

③ 静岡県「子育ては尊い仕事」具現化推進事業

目的/子育てをしているお母さん達ならではの意見を企業の製品開発などに役立ててもらおう中で子育ては尊い仕事であることを感じてもらう。

月 日	企業名	内 容	参加人数
1月28日(水)	明治	栄養士による「幼児の発達食育推進の ついて」・アンケート・質疑応答	21組
2月25日(水)	和光堂	栄養士による「幼児食のすすめ」 アンケート・質疑応答	16組
2月27日(金)	大塚製薬	「大豆の大切さの話」・アンケート (読み聞かせ&ホットタイム内にて)	18組

(5) 地域連携

① お便り配布

- ・子育て支援センター便りを自治会回覧・各施設等の情報コーナーへ配布した。
また、活動のポスターなども掲示したり、市の保健師さんを通じ活動のチラシを配布してもらった。
- ・プレママ&パパサロンに出かけて行き支援センターを知ってもらうPR活動をした。

② 職員研修参加

- ・子育てマイスター初任者研修会参加
- ・子育てマイスター中級者研修会参加
- ・子育てマイスター公開講座参加

8 介護保険事業

介護保険事業所を取り巻く環境は、利用者数の減や、サービス内容の変化等により減収となった。人材確保や介護職員の待遇改善、職員の効率的な配置や業務の兼務化にも取り組み、引き続き安定した経営に努めた。今後も「信頼される心のこもったあったかいサービス」の提供に努力していきたい。

I 居宅介護支援事業

きくがわ居宅介護支援事業所（ケアプラン作成件数）前年度 2,030 件（221 件）

（単位：件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
介護	175	179	175	178	181	178	178	178	178	176	167	170	2,113
予防	19	21	21	24	23	26	26	29	26	28	28	26	297
計	194	200	196	202	204	204	204	207	204	204	195	196	2,410

II 訪問介護事業

きくがわヘルパーステーション（月別稼働状況）

前年度 派遣回数 4,946 回 稼働時間 4,330 時間 利用者数 466 人

（単位：回、時間、人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
派遣回数	377	341	369	369	374	358	336	291	279	288	364	374	4,120
稼働時間	360	341	361	345	362	349	313	266	272	276	310	329	3,884
利用延数	37	36	39	37	39	39	36	37	34	34	35	34	437

III 通所介護事業

（1）東部デイサービスセンターぎおんの里〔小規模〕（利用実績）

前年度 運営日数 244 日 利用延数 2,462 人 1 日平均 10.1 人

（単位：日、人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
運営日数	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	22	244
利用延数	205	179	192	179	180	171	176	142	143	114	104	77	1,862
1 日平均	9.8	9.0	9.1	8.1	8.6	8.6	8.0	7.9	7.5	60.0	5.5	3.5	7.6

(2) 中部デイサービスセンター〔通常規模〕 (利用実績)

前年度 運営日数 294 日 利用延数 6,179 人 1 日平均 21 人

(単位：日、人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
運営日数	25	24	25	26	26	24	25	22	23	23	24	26	293
利用延数	516	523	536	552	598	565	569	535	531	491	552	632	6,600
1 日平均	20.6	21.8	21.4	21.2	23.0	23.5	22.8	24.3	23.1	21.3	23.0	24.3	22.5

IV 訪問看護事業

(1) きくがわ訪問看護ステーション (月別稼働状況)

前年度 利用者数 783 人 利用件数 4,084 件 利用時間 3,383 時間

(単位：人、件、時間)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用者数	67	70	67	65	70	70	70	69	70	75	70	70	833
利用件数	336	380	340	362	338	335	375	338	345	337	357	398	4,241
利用時間	249	290	251	268	245	242	288	255	279	287	290	318	3,262

実習生受入状況

地域福祉推進と福祉に関わる人材育成を目的に、多様な機関から多くの実習生を受け入れている。

NO	期 間	機 関	受入先
1	6/26	タップ(株) (1 名)	ヘルパーステーション
2	6/30	タップ(株) (1 名)	ヘルパーステーション
3	8/1～8/26	静岡県立大学短期大学部	菊川市社会福祉協議会
4	8/11～8/15	静岡福祉大学	菊川市社会福祉協議会
5	8/18～9/8	静岡福祉大学	菊川市社会福祉協議会
6	8/21	タップ(株) (1 名)	ヘルパーステーション
7	10/3	タップ(株) (1 名)	ヘルパーステーション
8	2/9～2/25	静岡福祉大学	菊川市社会福祉協議会
9	2/23	タップ(株) (1 名)	ヘルパーステーション
10	3/2～3/18	静岡福祉大学	菊川市社会福祉協議会
11	3/16～3/23	静岡県立大学短期大学部	菊川市社会福祉協議会

9 障害者総合支援法事業

障害者総合支援法に基づく、居宅介護と地域生活支援事業は利用者也少ないため、単事業では経営は困難な部分もあるが、介護保険事業と一体化した体制で運営していくことで、在宅での暮らしを支援し、個別のニーズに対応している。

I 居宅介護等事業

社協きくがわ支援事業所

前年度 派遣回数 415 回 稼働時間 606.3 時間 延利用者数 96 人

(単位：回、時間、人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
派遣回数	42	40	29	37	35	36	44	33	35	41	52	58	482
稼働時間	62	57	49	56	57.0	58.0	72.0	51	55	50	59	68	694
利用者数	10	10	9	10	9	9	9	10	8	10	9	10	113

II 地域生活支援事業

(1) 訪問入浴事業 前年度 派遣回数 46 回 延利用者数 12 人

(単位：回、人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
派遣回数	5	3	4	5	4	5	1	3	4	4	4	5	49
利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(2) 移動支援事業

前年度 派遣回数 55 回 稼働時間 200.5 時間 延利用者数 20 人

(単位：回、時間、人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
派遣回数	5	5	6	7	4	6	7	4	6	5	7	8	70
稼働時間	18	18	24	25.5	17	24	25	17	23.5	18	19.5	28	257.5
利用者数	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	23

10 保育園事業

平成26年度保育園年間事業報告

	みなみ保育園	ひがし保育園
月	主な行事	主な行事
4	入園・進級のつどい(5日 84名)	入園・進級のつどい(5日 88名)
	花まつり(8日 47名)	花まつり(8日52名) 交通安全教室 (16日52名)
		ミニ運動会(22日88名)
5	子どもの日のお祝い(2日 86名)	子どもの日のお祝い(2日80名)遠足(30日85名)
	交通安全教室(7日 86名)	親子クッキング(17日 29名)
	ぎょう虫検査 (8日 86名)	ぎょう虫検査(12日 96名)
	内科検診(29日 88名)	内科検診 (22日96名)
6	歯科健診 (4日83名)	プール開き(19日 91名) 歯科検診 (2日95名)
	お父さんとおじいちゃんと一緒にの日 (5日81名)	保育参観・講演(28日 71名)
	花火教室・地域交流 (9日81名)	
7	七夕のつどい(7日 76名)	花火教室 (1日97名) 七夕まつり (7日83名)
	さなぶりの会 (18日74名)	お泊り保育(25, 26日 20名)
	お泊り保育(19日 23名)	東小5年生プール交流20名
8	プール自由参観(1～ 14日)	夏祭り (2日 86名)
	防災訓練 (21日76名)	プール納め(29日 92名)
9	おじいちゃん・おばあちゃんと一緒にの日 (5日83名)	県下一斉防災訓練(1日 93名)
	内科検診 (11日84名)	祖父母参観(6日 68名)
	運動会 (27日 87名)	地域交流くすりん敬老会 (14日35名)
		運動会(27日 94名)
10	地域交流 (22日75名)	交通安全教室(7日 91名) 内科検診 (23日96名)
	内科検診 (30日89名)	バス遠足(16日 50名)
11	交通安全教室・地域交流(12日 87名)	合同遠足 (6日20名) 七五三(14日 90名)
	七五三(12日86名)	地域交流・くすりん祭り参加 (9日38名)
	地域交流(20日 40名)	防火教室 (28日94名)
12	もみの木のつどい (7日86名)	クリスマス会(13日 87名)
	防火教室(13日 88名)小・中・高生ボランティア受入	小・中・高生ボランティア受け入れ
	クリスマス会 (24日87名)	
	もちつき会 (25日87名)	
1	下駄の日(17日 61名)	伝承遊び・マラソン・もちつき会 (17日75名)
2	食育絵画展 (7日87名)	節分(3日 82名)
	節分のつどい(7日87名)	交通安全教室(5日 91名)
		ミニ運動会(24日93名)
3	ひな祭りのつどい・地域交流(3日 87名)	ひな祭り(3日 96名)
	修了のつどい(27日 87名)	修了のつどい(27日 93名)
	卒園のつどい(28日 32名)	卒園のつどい(28日 50名)

※職員研修

○[一般研修]

行政機関・県保連・県保育士会及びそれに関連した機関など園の資質向上に関係する研修会に参加。

○[園内研修]

年間研修テーマを決めて月 1 ～ 2 回研修を実施。

○[合同研修]

みなみ・ひがし両保育園の合同研修実施。(5/17 山崎保健師による衛生管理研修)

平成26年度 保育園入園児数

みなみ保育園

ひがし保育園

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4 月	7	9	21	15	15	17	84	4 月	6	15	21	13	20	20	95
5 月	8	9	22	15	15	17	86	5 月	6	17	21	12	20	20	96
6 月	8	9	22	15	15	17	86	6 月	6	16	21	12	20	20	95
7 月	8	9	21	15	15	17	85	7 月	8	17	20	12	20	20	97
8 月	9	8	21	15	15	17	85	8 月	8	17	18	12	19	20	94
9 月	9	9	21	15	15	18	87	9 月	9	18	18	12	19	20	96
10月	9	10	20	15	15	18	87	10月	10	18	17	12	19	20	96
11月	10	10	18	15	15	18	86	11月	10	18	17	12	19	20	96
12月	10	10	19	15	15	18	87	12月	11	18	17	12	19	20	97
1 月	10	8	19	14	15	17	83	1 月	12	18	18	12	19	20	99
2 月	12	9	20	14	15	17	87	2 月	12	17	17	12	19	20	97
3 月	12	9	20	14	15	17	87	3 月	12	16	17	12	19	20	96
計	112	109	244	177	180	208	1, 030	計	110	205	222	145	232	240	1, 154